

LINN

English

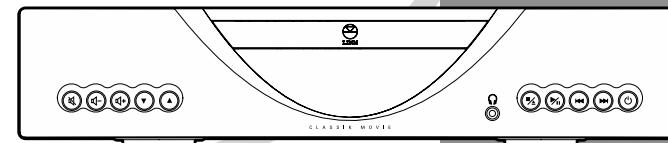
Español

Nederlands

日本語

CLASSIK MOVIE

Owner's Manual



安全に関する重要事項

製品のリアパネルまたは底面に付されたマークについて：



危険な電圧が存在することを警告するものです。
感電を引き起こす可能性があるため注意が必要です。



説明書やサービスマニュアルにおいて、
操作、メンテナンス、サービス上の重要な事項を示すマークです。

本機を主電源に接続する場合

注意

感電の恐れがあるため、カバーを取らないでください。

ユーザーが修理・調整すべき内部部品はありません。

サービスは有資格の技術者に一任してください。

電源プラグのヒューズは、同タイプ、同定格のものと交換してください。

ヒューズ交換は、電源コードを抜いてから行ってください。

警告

火災や感電事故を防止するため、本製品を雨にあてたり、湿気の多いところに置いたりしないでください。感電の危険があります。一開けないでください。

電源コードとプラグ

販売する国により、製品には改造不可の電源プラグが付いています。

交換用電源コードは販売店でお求めください。プラグ交換が必要な場合、注意して処分してください。導線が露出したプラグをコンセントにつなぐと危険です。

茶色のワイヤはLiveピンに接続します。

青いワイヤはNeutralピンに接続します。

緑/黄色のワイヤはEarthピンに接続します。

少しでも疑問があれば、販売店が技術者にご相談ください。



製品のフューズおよび消費電力については、各製品のリアパネルあるいは底面をご参照下さい。

安全注意事項

1. 説明を読む：
2. 説明書を保管する：
3. 警告に従う：
4. 指示に従う：
5. 本機をバスタブ、洗面台、台所流し、洗濯槽などの近く、高湿度の地下室内、プールサイドなど、水のそばや湿気の多い場所では使用しないでください。
6. お手入れは、乾いたクロスで行ってください。
7. 換気口はふさがないようにください。製造者の指示に従って設置してください。適切な換気ができる位置と向きに設置してください。例えば本機をヘッド、ソファ、ラグなどの上に置くことは、通風口を塞ぐ恐れがあるため、避けるべきです。造り付けの書棚やキャビネット内も通風口からの空気の流れを妨げることがあるため、不適当です。
8. ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ(アンプを含む)などの熱を発生する物のそばに設置しないでください。
9. 安全性を高める分極プラグ、アース付きプラグの目的を遵守してください。分極プラグには一方が他より広い2つのブレードが付いています。アース付きタイプのプラグには、2つのブレードのほかにアース用の突起があります。この3番目の突起は安全を守るためにあります。製品に付属するプラグがご使用のコンセントに合わない場合は、電気技術者に相談の上、旧型コンセントを取り替えてください。
10. 電源コードは、踏まれたり、他の物に引っかかったりしないように配置してください。特に、プラグ、電源コンセント、本体を出る個所に注意が必要です。
11. 製造者指定の付属品以外は使用しないでください。
12. スタンド、三脚、ブラケット、テーブルは、製造者指定の物、または本機と共に販売された物以外は使用しないでください。
13. 雷が鳴っているとき、また長期間使用しない場合は、本機器の電源プラグを抜いてください。
14. サービスは有資格の技術者に一任してください。電源コードやプラグの破損、製品内部に異物や液体が入ったとき、製品が雨や湿気にさらされたとき、正常に作動しないとき、あるいは製品を高いところから落としたりするときなどは、専門技術者による修理調整サービスが必要となります。

15. **壁や天井への取付:** 壁や天井に取り付ける場合は、必ず製造者の指示に従ってください。
16. **電源:** 必ず、操作説明書や製品本体に記載されたタイプの電源に接続してください。
17. **電源プラグ:** 本体の主電源を切断するには電源プラグを抜いてください。電源プラグは常に手の届きやすい場所に設置します。本製品を使用していないときは、電源スイッチ(該当する場合)を使用してください。
18. **電線:** 屋外アンテナは、電線から離して設置してください。
19. **屋外アンテナの接地:** 本製品に屋外アンテナを接続する場合は、電圧サージと静電気蓄積から保護するために、アンテナをアースする必要があります。米国の場合、設置に関してはNational Electrical Code ANSI/ NFPA 70の810項を参照してください。
20. **電話線:** 本製品は、特に指示のない限り、電話線に接続しないでください。
21. **異物や液体の混入:** 本機器内部に異物や液体を入れないでください。水しぶきのかかる場所に置かないこと。液体の入った容器を本機器の上に載せないでください。液体の入った容器を本機器の上に載せないでください。
22. 火のついたろうそくなどの裸火が本製品に触れないようにしてください。
23. 本製品は温かな気候や熱帯気候で使用できるよう設計されています。

CE 遵守宣言

リン・プロダクツ・リミテッドは、本製品が低電圧に関する指令 73/23/EEC および電磁互換性に関する指令 89/336/EEC (92/31/EEC および 93/68/EEC により修正) に準拠することを明言いたします。

当該製品が 73/23/EEC (LVD) 指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

規準番号	制定年	試験形式
EN60065	2002	一般要件 マーキング 危険性のある放射物 通常条件における発熱 通常の作動条件における感電の危険 作動条件 絶縁要件 故障の要件 機械的な強度 電源に接続する部品 コンポーネント 端子装置 外部フレキシブルコード 電気接続と機械的な固定具 感電に対する保護 安定性と機械的な危険 耐火性

当該製品が 89/336/EEC (EMC) 指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

規準番号	制定年	試験形式
EN55013	2001	誘導排気
EN55013	2001	吸収排気
EN55020	2002	免責

FCC 通告

注記

本機器は試験審査の結果、FCC 規則第 15 部により、クラス B デジタル機器の限度内で作動することが認められました。この限度は、一般家庭用機器の設置における有害な干渉に対し、妥当な保護を提供するために定められたものです。本機器は、高周波エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があり、指示に従って設置・使用されない場合、無線通信に干渉するかもしれません。しかし、特定の設置条件により干渉を起こさないという保証はありません。

本機器がラジオやテレビの受信を妨害するようであれば、本機器のスイッチを切り入れたりすることで、確認できます。次のような方法のひとつで、あるいはいくつかの方法の組合せで、干渉が改善されるかどうかお試しください。

- 受信アンテナの方向を変える。または位置を変える。
- 本機器とレシーバーの距離を離す。
- レシーバーが接続されている電源の回路とは別の電源に本機器を接続する。
- 販売店またはラジオ/テレビの専門技術者に相談する。



著作権と商標記載に関するお断り

Copyright © 2005 Linn Products Ltd. 初版2005年8月

Linn Products Limited, Glasgow Road, Waterfoot, Eaglesham, Glasgow,
G76 0EQ, Scotland, United Kingdom

すべての権利を留保します。発行者の書面による許可なしには、本書のいかなる部分も、いかなる形式であれ、また電子的、機械的、複製、録音、録画その他いかなる手段であっても、複製、使用可能な形で保存、転送をすることはできません。

Printed in the United Kingdom.

Linn (リン) およびLinnのロゴは、Linn Products Limitedの登録商標です。

CLASSIK Movie、**KOMPONENT** および**KNEKT** はLinn Products Limitedの商標です。

英国登録意匠番号3021659

[DTS] および [DTS Digital Surround] は Digital Theater Systems, Inc. の登録商標です。

Dolby Laboratories とのライセンス契約により生産。[Dolby] [Pro Logic] [double-D] のマークは、いずれもDolby Laboratoriesの商標です。

本製品には著作権保護技術が組み込まれており、Macrovision Corporation その他の所有になるアメリカ合衆国特許および他の知的財産権などにより保護されています。この著作権保護技術の使用には、Macrovision Corporation による承認が必要であり、同社による承認なしには、家庭その他での限られた閲覧だけが意図されています。改造や分解は禁止されています。

本マニュアル記載の情報は、情報提供だけを目的としており、予告なく変更されることがあります。またリン・プロダクツ・リミテッドが内容を保証するものではありません。リン・プロダクツ・リミテッドは本マニュアルに誤りや不正確な記述があったとしても、それに対する責任を負うことはありません。

リン・プロダクツ・リミテッドでは、弊社以外の商標・商品名に対する所有権を主張することはありません。

本製品の供給はライセンスを伴うものではなく、営利目的の放送システム(地上・衛星・ケーブルその他の流通経路、ストリーミングアプリケーション(インターネット、イントラネット、その他ネットワーク経由)、その他のコンテンツ配送システム(有料オーディオやオーディオオンデマンドなどのアプリケーションその他)、物理的な媒介(CD、デジタル多用途ディスク、半導体チップ、ハードドライブ、メモリカードなど)における、本製品で作成されたコンテンツを配給する権利を与えるものでもありません。そのような用途には、別のライセンスが必要です。詳しくはウェブページ<http://mp3licensing.com> をご覧ください。

MPEG Layer-3 オーディオ・コーデイング・テクノロジーは、Fraunhofer IIS and Thomson よりライセンス許可取得。



目次

はじめに	1	ディスクを再生する	29
ディスク	1	はじめに	29
サラウンドサウンド	2	前面パネルディスプレイ	30
クリーニング	2	基本操作	31
クイックセットアップシートについての注意事項	3	ディスクのタイトル/チャプター/トラックの頭出し	32
接続	4	次/前のチャプター/トラック選択	32
開梱	4	ダイレクトタイトル選択	32
電圧の選択、ヒューズ、電源コード	4	ダイレクトチャプター選択	32
設置	4	ダイレクトトラック選択	33
背面パネル(SCART仕様)	5	ディスクの特定ポイントを探す	33
背面パネル(Phono仕様)	6	早送り/早戻し(サーチ)	33
CLASSIK Movie を接続する	7	スキャン再生/逆再生	33
前面パネルとリモコン	13	スロー再生/逆再生(サーチ)	34
前面パネル	13	スロースキャン再生/逆再生	34
リモコン	14	ダイレクトタイム選択	34
リモコンモード	16	トラックの繰り返し再生	35
映像出力	17	プログラムモードで再生する	35
セットアップメニュー	18	ディスクの繰り返し再生	35
セットアップメニューについて	18	チャプター/トラックの繰り返し再生	35
一般設定	19	セクションの繰り返し再生	36
スピーカー設定	21	シャッフル再生	36
映像ソース設定	23	プログラム再生	36
音声設定	24	除外再生	37
お好み設定	27	DVDメニューを使う	37
ソースの選択	29	タイトル/DVDメニュー	37
		DVDをさらに使いこなす	38
		言語選択	38
		字幕選択	38
		アングル選択	38
		ズームとパン機能	38
		その他のファイル形式	39

チューナー	40
セットアップ	40
はじめに	40
チューニング機能	41
AM/FM 帯域の選択	41
周波数の選択	41
信号サーチ	41
信号スキャン	41
プリセット機能	42
自動プリセット保存	42
手動プリセット保存	42
プリセット選択	43
プリセット削除	44
サラウンドサウンドとオーディオモード	45
ミッドナイト・ムービーモード	46
プリアンプ	47
音量とミュート	47
トリム調整	48
バランス調整	48
トーン調整	49
ソースのレコーディング	50
録音録画ロック	50
ユーザーオプション	51
ユーザーオプション設定を変更する	51
ユーザーオプション一覧表	52
保証とサービス	54

はじめに

弊社のCLASSIK シリーズ製品は、従来の単品コンポーネントによるシステムが持っている性能を小型で落ち着いたスタイリッシュなパッケージでお届けできるよう設計されています。CLASSIK Movie は、ご家庭にいながら最高水準の音声と映像で映画をお楽しみいただけるという他に類を見ない、極めて優れた総合エンタテインメントソリューションです。

弊社では、モジュラー方式で拡張可能かつアップグレード可能な製品の構築を目指しています。ご購入いただいた CLASSIK Movie は、極めて優れた音声と映像の性能を備えており、様々なシステムプランにも柔軟に対応します。ご使用の CLASSIK Movie は、将来アップグレードが可能で、弊社のマルチルームシステムとの統合も可能となります。CLASSIK Movie の性能を充分にお楽しみいただくため、KOMPONENT スピーカーシステムなど、弊社のスピーカーと組み合わせてご使用になることをお奨めします。

弊社について詳しくは、www.linn.co.uk をご覧ください。

本マニュアルの「接続、映像出力、セットアップメニュー」の章では、本機の接続と設定に関する内容が記載されています。本機を今すぐ起動操作する場合は、同梱のクイックセットアップシートと3 ページに記載の注をご参照ください。

注記:

本マニュアルにおける「TV(テレビ)」には、通常のテレビのほか、プラズマ・液晶スクリーン、プロジェクションテレビ、モニターも含まれます。

ディスク

CLASSIK Movie は下記のディスクを再生できます:

種類	内容	サイズ
DVD ビデオ DVD+R DVD-R DVD+RW DVD-RW	音声と映像、 あるいは音声のみ (MPEG-1、MPEG-2、 JPEG、LPCM、MP3)	8 cm / 12 cm
CD CD-R CD-RW	音声のみ、 あるいは音声と映像 (LPCM、DTS CD、MP3、 JPEG、MPEG-1、MPEG-2)	8 cm / 12 cm

重要事項: ディスクの規格

承認された規格のディスクすべてについて、国際的な互換性を確保するためにあらゆる努力を行っていますが、現在および将来市場に出るディスクすべてに対する本機の完璧な作動を保証することは不可能です。弊社では、現在入手可能なディスク多種をテストしてきましたが、現在出回っている多くのディスクが自社の公表する仕様や認証済みの正式仕様に合致していません。このため、**特定のディスクが再生できないことに対し、責任を負うことはできません**。本機で再生できないディスクがあり、他社のプレイヤーで再生することができたとしても、それは本機に欠陥があると示すものではありません。再生に問題があるディスクの詳細については、多くのウェブサイトに掲載されていますから、本機の性能に対して判断を下す前にこうした公表データを検討なさるようお願いいたします。本機の性能向上に役立つこともあるため、疑わしいディスクを提出してくださることを歓迎するものではありませんが、そうしたディスクの再生方法を学ぶ可能性について弊社が何らかの保証をしたという根拠に基づいてエンドユーザーからディスクを受領することはできません。

特殊形状ディスク

ハート型、名刺サイズなどの特殊形状ディスクは再生しないでください。製品破損の原因になります。

サラウンドサウンド

本機は下記のロゴの付いたディスクのオーディオ信号に対応しています:



またデジタル入力に接続した補助ソースからのオーディオ信号にも対応しています。

サラウンドサウンドモードに関する詳細は、45 ページの「サラウンドサウンドとオーディオモード」の項をご参照ください。

クリーニング

クリーニングは本機の電源ケーブルをコンセントから抜いてから行ってください。ホコリや指紋は柔らかいクロスで拭き取ってください。家庭用クリーナーなどのご使用はお控えください。

クイックセットアップシートについての注意事項

1. 本機背面パネルのスピーカー出力にスピーカーを接続します。スピーカーはフロント左とフロント右の最低2台が必要で、フロント左、フロント右、センター、サラウンド左、サラウンド右、サブウーファーと6台まで使用できます。本機のプラス極(赤)とマイナス極(黒)出力をスピーカーのプラス極とマイナス極の入力に正しく接続してください。* スピーカーの位置を調整して最高のサウンドが得られるようにします。サブウーファーは、その性能を最大限に引き出すため、フロント左またはフロント右のスピーカー近くに設置します。

(表示のスピーカーは本機との組み合わせが最適な弊社のKOMPLEMENT スピーカーです。他のスピーカーをご使用で、接続方法がよくわからない場合、スピーカーのオーナーズマニュアルをご参照ください。)

2. ご使用のTVを図のように接続してください。本機のPhono 仕様のもをお持ちで、セットトップボックス(例: ケーブルテレビ受信機、衛星放送受信機、フリービューボックスなど)を接続している場合は、音声信号がセットトップボックスから本機に送信されるため、表示の音声ケーブル(R TV、L TV)を接続する必要はありません。


(クイックセットアップシートに示した例は、最もよく見られる接続例です。ご使用のTVで利用可能なさらに高品質のコネクターを使用したい場合、8ページをご参照ください。)

3. 図のようにセットトップボックス(例: ケーブルテレビ受信機、衛星放送受信機、フリービューボックスなど)を接続します。セットトップボックスをお持ちでない場合、これらの入力を使用して、ゲームコンソール、ビデオデッキなどの音声/映像ソースの接続することも可能です。

(クイックセットアップシートに示した例は、最もよく見られる接続例です。ご使用のセットトップボックスで利用可能なさらに高品質のコネクターを使用したい場合、10～11ページをご参照ください。)

(補助ソースを複数接続したい場合、10～11ページをご参照ください。)

* サブウーファーには適用されません。

4. 付属のAM/FM チューナーアンテナを接続します。FMアンテナの端部はアンテナの長さか許す限り壁の高い位置に接続してください。ここで本機のチューナーを使用しない場合、アンテナは後で取り付けることも可能です。
5. 本機を付属のリード線で主電源に接続します。主電源にアースが取れない場合、EARTH GROUND (アース) をアース端子に接続してください。注記: 本機はあらゆるAC電源を主電源として動作します。
6. 前面パネルの  キーを押し、本機をスタンバイモードから切り替えます。
7. 付属のバッテリーをリモコンに入れます。
8. 本機のビデオ信号出力はご使用のTVに正しくセットしてください。17ページに記載の手順に従います。
9. 本機は、ご使用のシステム内のスピーカーの数、TVの画質比率、その他の機能に合わせて設定してください。一般設定とスピーカー設定メニューを設定するには、19～23ページの指示に従ってください。
10. 本機のチューナーは、ご使用の国の正しい周波数帯域に合わせて設定してください。40ページのチューナー設定の項に記載の指示に従ってください。ここで本機のチューナーを使用しない場合、チューナーの設定は後で行うことも可能です。

設定について詳しくは、「接続する」および「セットアップメニュー」の各章をご参照ください。

接続

本章では本機の設置およびスピーカー、TV などの接続の仕方を説明します。

開梱

本機には、以下の付属品が同梱されています：

- リモコン
- リモコン用単4 乾電池(2 本)
- スピーカープラグ一式(安全基準に準拠のもの)
- AM アンテナ
- FM アンテナ
- 電源コード
- クイックセットアップ案内
- 本マニュアル

将来の輸送などに備えて、梱包材や箱は保管しておいてください。

電圧の選択、ヒューズ、電源コード

本機はあらゆる電源からのAC 電力で動作しますから、電圧を手動で選択する必要はありません。本機にはユーザーが交換できるヒューズは内蔵されていません。各国の規則に従って、電源コードにヒューズ入りプラグが付属している場合もあります。その場合、ヒューズ交換の際には必ず同タイプ・同定格のものを使用してください。本機を主電源につなぐときは、必ずアースしてください。付属のアース付き成形電源コードを使用してください。アースなしのプラグやアダプターは使用しないでください。

設置

本機はたいていどんな場所にも手軽に置いていただけます。ただし、以下の点にご注意ください：

- 換気のために、本機の両側、後部、上部には少なくとも10cmの空間をとってください。
- 本機の両側にある通気孔をふさがないでください。
- リモコンからの信号を受ける赤外線センサーは高感度です。誤動作を避けるために、本機は直射日光が当たらないところに置いてください。リモコンの赤外線ビームは磨りガラスも通りますから、たとえばキャビネットの曇りガラス越しの操作も可能です。

重要：

ガラス戸の向こうに本体を置いた状態でディスプレイを開けないようご注意ください。トレイのメカニズムを損なう場合があります。

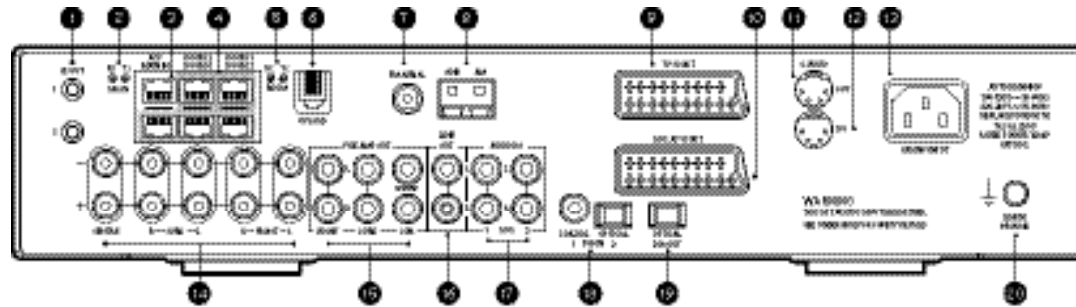
プラズマスクリーン、LCD スクリーンについての注意

プラズマスクリーンと大型LCD スクリーンは赤外線周波を発生するため、放出された赤外線が本機のディスプレイに当たった場合、本機の赤外線によるリモコン操作に干渉する場合があります。本機を設置する際は、プラズマスクリーンまたはLCD スクリーンと向かい合わせにならないよう、また放出された赤外線が直接当たらないようご注意ください。通常、スクリーンの下または直接隣接する位置では、このような干渉を避けることができます。

背面パネル — SCART 仕様



背面パネルのプラグの接続を行う場合、接続を外す場合には、まず本機をスタンバイモードにして、電源からコードを外してください。これを行わないとサージが発生し、本機や他のAV機器に損傷を与える恐れがあります。



1 IR OUT 1 & 2

赤外線フラッシュャー端子。
赤外線信号を受信する補助装置のリモコンを介した制御を可能にします

2 MAIN RX TX

KNEKT LED インジケーター。
KNEKT マルチルームシステムの機器間で信号のやりとりを行っているとき点灯します

3 ACC

アクセサリ端子。KNEKT マルチルームシステム内に本機を設置したり、赤外線リピーターを追加したりする場合に使用します

4 ROOM 1 - 4、MAIN IN

KNEKT 端子。
KNEKT マルチルームシステム内で他の機器と接続する場合に使用します

5 ROOM RX TX

KNEKT LED インジケーター。
KNEKT マルチルームシステムの機器間で信号のやりとりを行っているとき点灯します

6 UPLOAD (アップロード)

RS-232 接続端子。利用可能なソフトウェアの最新版を本機にアップロードする場合に使用します

7 FM アンテナ

FM アンテナ端子

8 GND、AM

AM アンテナ端子

9 TV SCART

TV のSCART 端子入力に接続する場合に使用します

10 AUX AV SCART

セットトップボックス、ビデオデッキその他のビデオソースのSCART 端子出力に接続する場合に使用します

11 S-VIDEO OUT (S 映像出力)

TV のS 映像入力に接続する場合に使用します

12 S-VIDEO IN (S 映像入力)

セットトップボックス、ビデオデッキその他の映像ソースのS 映像出力に接続する場合に使用します

13 MAINS INPUT (電源入力)

スピーカー出力端子
スピーカーに直接接続するための増幅信号の出力端子

14 SPEAKER OUTPUT

15 PRE-AMP OUT (プリアウト)

プリアンプライン出力端子。パワーアンプとサブウーファーを接続します

16 LINE OUT (ライン出力)

アナログレコーディング装置への接続に使用します

17 AUX IN 1 & 2 (音声入力1 & 2)

補助ソース用アナログ音声入力

18 DIGITAL IN 1 & 2 (デジタル入力1 & 2)

補助ソース接続用のデジタルオプティカル入力とデジタル電気入力

19 DIGITAL OUT (デジタル出力)

デジタルオプティカル入力機能を備えた機器の接続に使用します

20 EARTH GROUND (アース)

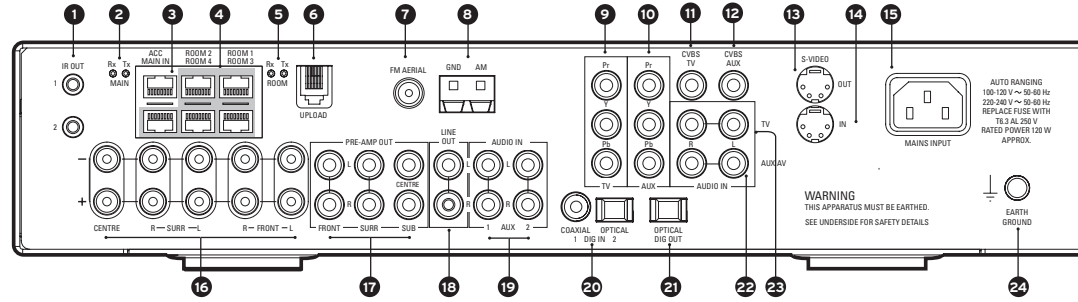
主電源にアースが取れない場合、本機をアース端子に接続します

日本語 接続

背面パネル —
Phono 仕様



背面パネルのプラグの接続を行う場合、接続を外す場合には、まず本機をスタンバイモードにして、電源からコードを外してください。これを行わないとサージが発生し、本機や他のAV機器に損傷を与える恐れがあります。



- 1 IR OUT 1 & 2**
赤外線フラッシュャー端子。
赤外線信号を受信する補助装置のリモコンを介した制御を可能にします
- 2 & 5 MAIN & ROOM RX TX**
KNEKT LED インジケータ。
KNEKT マルチルームシステムの機器間で信号のやりとりを行っているとき点灯します
- 3 ACC**
アクセサリ端子。KNEKT マルチルームシステム内に本機を設置したり、赤外線リピーターを追加したりする場合に使用します
- 4 ROOM 1 - 4, MAIN IN**
KNEKT 端子。
KNEKT マルチルームシステム内で他の機器と接続する場合に使用します
- 6 UPLOAD (アップロード)**
RS-232 接続端子。
利用可能なソフトウェアの最新版を本機にアップロードする場合に使用します
- 7 FM アンテナ**
FM アンテナ端子
- 8 GND, AM**
AM アンテナ端子
- 9 YPrPb TV**
TV のコンポーネント映像入力に接続する場合に使用します
- 10 YPrPb AUX**
セットトップボックス、HDTV デコーダー、その他の映像ソースのコンポーネント映像出力に接続する場合に使用します
- 11 CVBS TV**
コンポジット映像出力。
コンポーネントまたは S 映像入力を利用できない場合に TV の映像入力に接続します

- 12 CVBS AUX**
コンポジット映像入力。セットトップボックス、その他の映像ソースの映像出力に接続する場合に使用します
- 13 S-VIDEO OUT (S 映像出力)**
S 映像出力。コンポーネント入力を利用できない場合に TV の映像入力に接続します
- 14 S-VIDEO IN (S 映像入力)**
S 映像入力端子。セットトップボックス、その他の映像ソースの映像出力に接続する場合に使用します
- 15 MAINS INPUT (電源入力)**
- 16 スピーカー出力端子**
スピーカーに直接接続するための増幅信号の出力端子
- 17 PRE-AMP OUT (プリアウト)**
プリアンプライン出力端子。パワーアンプとサブウーファーを接続します
- 18 LINE OUT (ライン出力)**
アナログレコーディング装置への接続に使用します
- 19 AUX IN 1 & 2 (音声入力 1 & 2)**
補助ソース用アナログ音声入力
- 20 DIGITAL IN 1 & 2 (デジタル入力 1 & 2)**
補助ソース接続用のデジタルオプティカル入力とデジタル電気入力
- 21 DIGITAL OUT (デジタル出力)**
デジタルオプティカル入力機能を備えた機器に接続します
- 22 AUX AV AUDIO IN**
補助 AV ソースの音声入力
- 23 TV AUDIO IN**
TV の音声入力
- 24 EARTH GROUND (アース)**
主電源にアースが取れない場合、本機をアース端子に接続します




CLASSIK Movie を接続する

このセクションで、本機の接続の詳細を解説します。

注記:

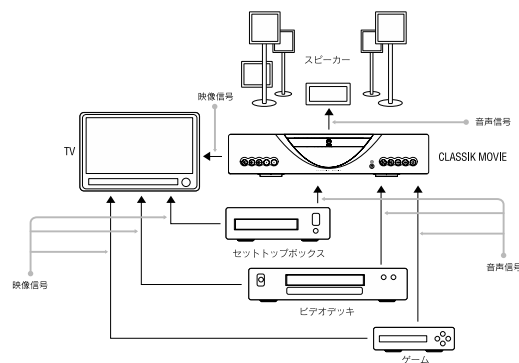
本マニュアルにおける「TV (テレビ)」には、通常のテレビのほか、プラズマスクリーン、液晶スクリーン、プロジェクションテレビ、モニターも含まれます。

電源に接続する

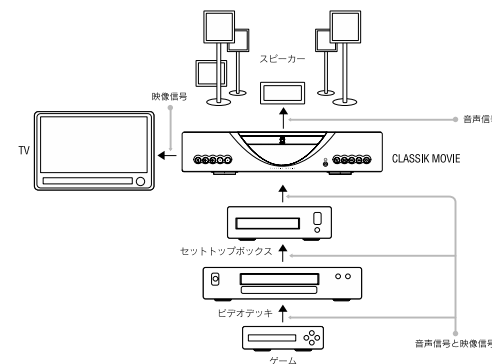
 すべてのAV 機器の接続が完了するまで電源に接続しないでください。
付属の電源コードを用いて、本機を電源に接続します。

本機を他のコンポーネントと接続する

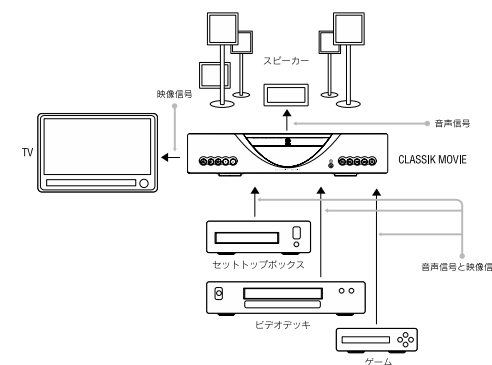
補助ソースからの映像出力はご使用のTV に直接接続し、音声出力は本機に接続すると、最上の効果が得られます。下図をご参照ください。



好みにより、あるいはご使用のTV に十分な接続端子がない場合、音声と映像の出力を本機に接続することができます。SCART 仕様の機器なら、他のコンポーネントを連結し、端子の一つをユニットに接続することができます。下記の図をご参照ください。

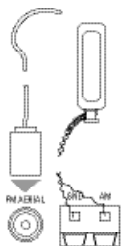


Phono 仕様の場合は、補助ソースからの音声出力と映像出力をそれぞれ本機に接続することができます。下図をご参照ください。



チューナーアンテナを接続する

付属のAM/FM アンテナを図のように接続します。



最適な受信状態を確保するには、AM アンテナの位置を調整しなければならない場合があります。FM アンテナの端部はアンテナの長さか許す限り壁の高い位置に接続してください。AM アンテナについては、最適な受信状態を確保するため、位置を調整しなければならない場合があります。

TV に接続する

現在のTV のほとんどが、種々の端子により、さまざまな種類の映像信号に対応しています。その違いは得られる画質に反映されます。本機で対応できる映像信号の種類は、以下の通りです。

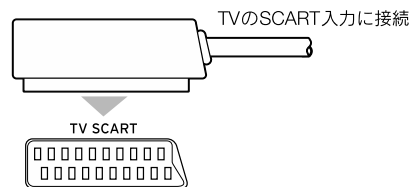
	SCART 仕様	Phono 仕様
高 ↓ 低	RGB — テレビSCART 出力を介す	該当なし*
	YPrPb (YUV) — テレビSCART 出力を介す	YPrPb
	S 映像	S 映像
	コンボジット — テレビSCART 出力を介す	コンボジット

* 規則に従い、RGB は本機のPhono 仕様には対応できません。

SCART 仕様

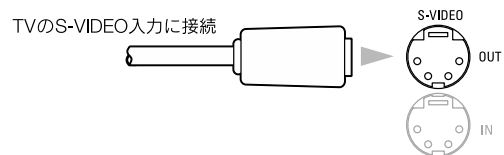
RGB/YPrPb

ご使用のTV がSCART ケーブルを介してRGB または YPrPb (YUV) 信号に対応する場合、図のように接続します。



S 映像

ご使用のTV にS映像入力端子がある場合、図のように接続します。



コンボジット

ご使用のTV がコンボジット信号にのみ対応する場合、上図のようにRGB/YPrPb 用に接続してください。

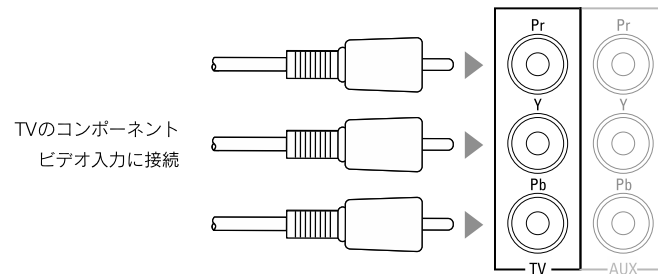
注記:

本機とTV をS映像端子で接続した状態で、TV からの音声出力を本機とスピーカーでお聴きになりたい場合、RCA phono ケーブルを使用してTV からの音声出力を本機のAUDIO IN - AUX 1 または2 の入力端子に接続します。本機とTV をSCART ケーブルで接続した場合、音声信号はSCART ケーブルで送られるため、音声ケーブルを接続する必要はありません。

Phono仕様

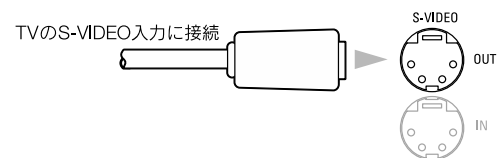
YPrPb (YUV)

ご使用のTVにYPrPb (YUV)入力端子がある場合、図のように接続します。



S映像

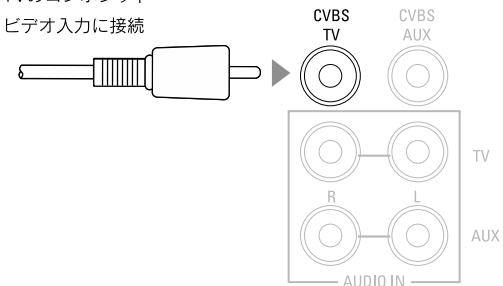
ご使用のTVにS映像入力端子がある場合、図のように接続します。



コンポジット

ご使用のTVがコンポジット信号のみを受信する場合、図のように接続します。

TVのコンポジットビデオ入力に接続



注記:

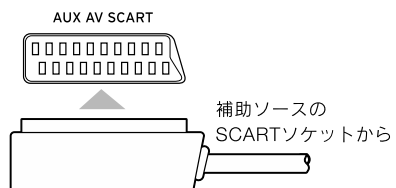
TVからの音声出力を本機とスピーカーでお聴きになりたい場合、RCA phonoケーブルを使用してTVからの音声出力を本機のTV入力端子R、Lに接続します。

補助映像ソースを接続する (セットトップボックス*、ゲームコンソール、ビデオデッキなど)

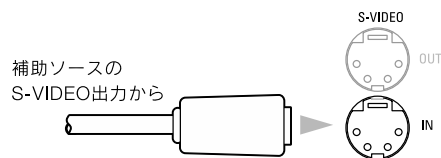
SCART 仕様

映像入力には次の2種類があります。

AUX AV SCART (音声信号も補助ソースから送りますが、音声出力を補助ソースからAUDIO IN - AUX またはDIGITAL IN 入力端子のいずれかに接続してもかまいません)。



S-VIDEO IN (補助ソースからの音声信号受信用で、補助ソースをAUDIO IN - AUX またはDIGITAL IN 入力端子のいずれかに接続します)。



注記:

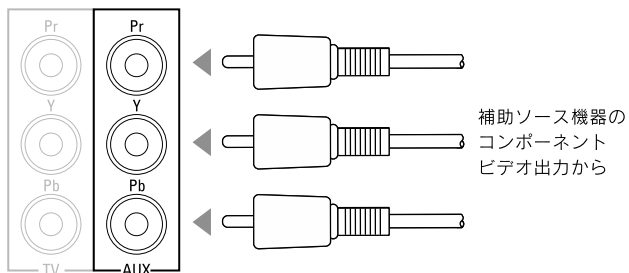
補助ソースは映像ソース設定メニューで設定変更の必要がある場合があります。補助ソースについては、23ページをご参照ください。

* ケーブルテレビ受信機、衛星放送受信機、HDTV 受信機、フリービューボックスなど

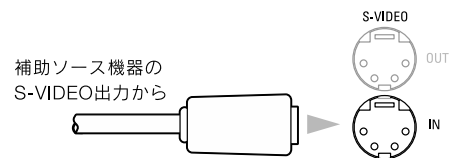
Phono 仕様

映像入力には次の3種類があります。

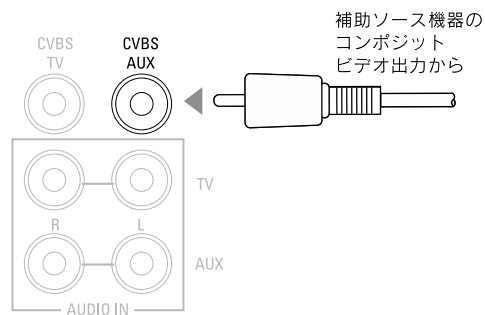
YPrPb AUX



S-VIDEO IN



CVBS AUX

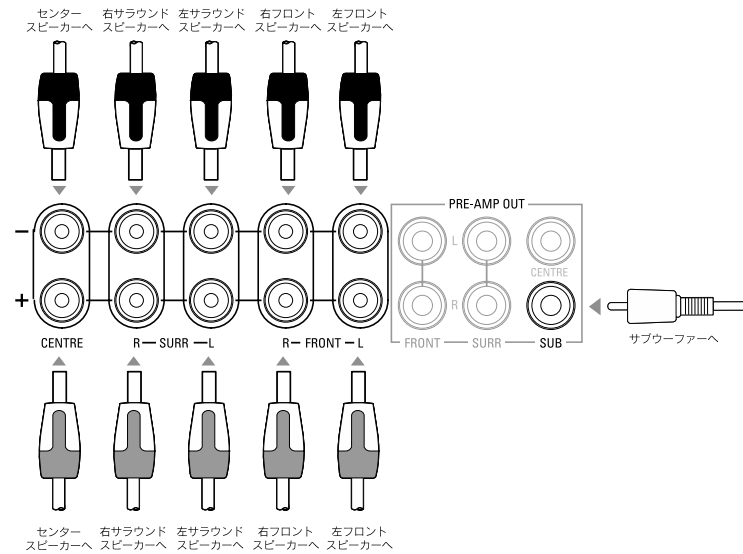


上記のいずれの場合についても、補助ソースからの音声信号を受信するには AUDIO IN - AUX AV、AUDIO IN - AUX 1, 2 または DIGITAL IN 入力端子を使用してください。

注記:
補助ソースは映像ソース設定メニューで設定変更の必要がある場合があります。
補助ソースについては、23 ページをご参照ください。

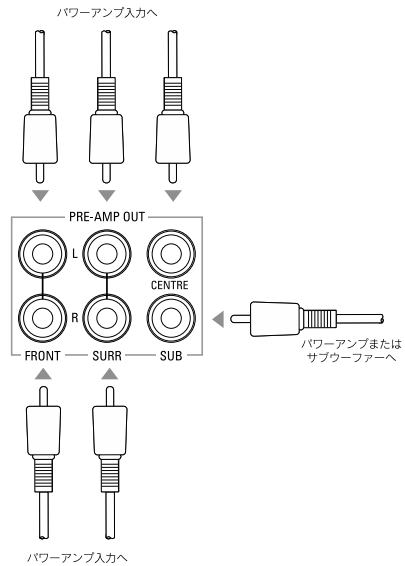
スピーカーと接続する

外部パワーアンプを使用せず、スピーカーを本機に直接接続する場合は、下図に従ってください。



外部パワーアンプと接続する

外部パワーアンプを使用して音声信号をスピーカーに送る場合、下図に従ってください。



補助アナログソースと接続する*

本機のAUDIO IN - AUX 1または2入力端子を、外部チューナー、セットトップボックス、ゲームコンソールなどの外部の音声または音声/映像ソースのアナログ出力に接続します。

補助デジタルソースと接続する*

本機のDIG IN 1または2入力端子を、外部チューナー、セットトップボックス、ゲームコンソールなどの外部の音声または音声/映像ソースのデジタル出力に接続します。

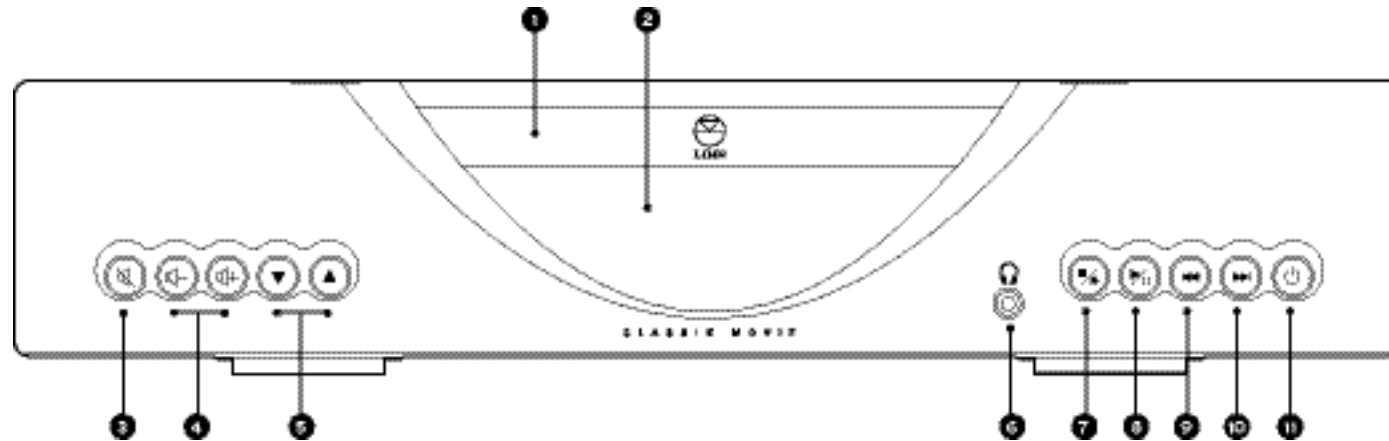
デジタル入力装置と接続する

本機のDIG OUT 出力をミニディスクプレイヤーや外部のホームシネマデコーダーなどデジタル入力装置に接続します。この出力を使用すると、Digital Out (デジタル出力) 設定メニューの設定変更が必要になる場合があります。24 ページをご参照ください。

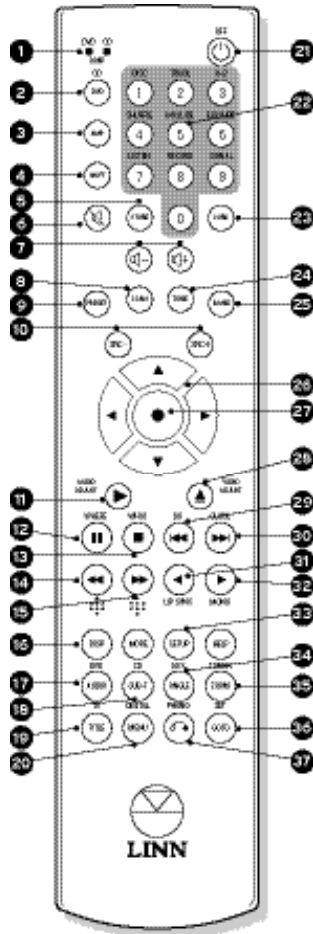
* 補助ソースは映像ソース設定メニューで設定変更の必要がある場合があります。補助ソースについては、23 ページをご参照ください。

前面パネルとリモコン

前面パネル

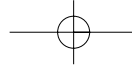


- | | |
|--|---------------------------|
| ① ディスクトレイ | ⑨ ◀◀ 前のチャプター/トラック選択 |
| ② ディスプレイ | ⑩ ▶▶ 次のチャプター/トラック選択 |
| ③ 🗣️ スピーカー、ヘッドフォンの音を
ミュート(消音/ミュート解除します) | ⑪ ⏻ スタンバイモードのオン/オフを切り替えます |
| ④ 🔊-/🔊+ 音量レベルを調整します | |
| ⑤ ▼/▲ ソースを選択します | |
| ⑥ 🎧 ヘッドフォン端子 | |
| ⑦ ■/▲ ディスク再生を停止し、ディスクトレイを開閉します | |
| ⑧ ▶/⏸️ ディスクを再生/一時停止します | |

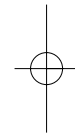
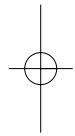


リモコン

- ① **LEDs** キーを押しているときのリモコンの状態を表示します
- ② **DVD / CD** リモコンがDisc (ディスク) モードに切り替わります
弊社の補助CD プレイヤーの操作を可能にします
- ③ **AMP** リモコンをAmp (アンプ) モードにします (青色で表示された機能)
- ④ **SHIFT** 赤色で表示された機能を使用できます
- ⑤ **STORE** ディスクとチューナーの情報を保存します
- ⑥ **🔇** スピーカー、ヘッドフォンの音をミュート (消音) / ミュート解除します
- ⑦ **🔊 / 🔊+** 音量レベルを調整します
- ⑧ **SCAN** チューナー信号をスキャンします
- ⑨ **PRESET** チューナープリセットを選択します
- ⑩ **SRC- / SRC+ (source - / +)** ソースを選択します
- ⑪ **▶ / AUDIO ADJUST** ディスクを再生します。また、調整可能な音声機能を使用できます
- ⑫ **⏸ / WHERE*** ディスクを一時停止します
- ⑬ **■ / WHAT*** ディスク再生を停止します
- ⑭ **◀ / ⋮ *** 早戻し検索
- ⑮ **▶▶ / ⋮ *** 早送り検索
- ⑯ **DISP (display)** ディスク再生中、前面パネルの時間表示を切り替えます
- ⑰ **AUDIO / DVD**** DVD の音声言語を選択します
- ⑱ **SUB-T / CD**** DVD の字幕の表示 / 非表示を切り替えます
- ⑲ **TITLE / TV**** DVD のタイトルメニューを呼び出します
- ⑳ **MENU / DIGITAL**** DVD のメインメニューを呼び出します
- ㉑ **🔌 / OFF** スタンバイモードのオン / オフを切り替えます
使用可能な弊社の全機器に「オフ」(スタンバイ状態になる) コマンドを送ります



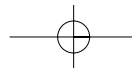
- 22 数字0～9/シフト機能 数字キー。赤色で表示された機能を使用できます
- 23 **SURR (サラウンド)** 音声フォーマットを順に表示します
- 24 **TUNE** チューナーの周波数を選択します
- 25 **BAND** 周波数帯域を選択します
- 26 **▲/▼/◀/▶** セットアップメニューの項目を選択し、各種機能を調整します
- 27 **● ('select')** 設定を選択します
- 28 **▲/VIDEO ADJUST** ディスクトレイを開閉し、映像出力信号のタイプを選択します
- 29 **◀◀/DO*** 前のチャプター/トラックの選択
- 30 **▶▶** 次のチャプター/トラックの選択
- 31 **◀** スキャン再生
- 32 **▶** スキャン逆再生
- 33 **SETUP** オンスクリーンセットアップメニューを開始/終了します
- 34 **ANGLE/AUX**** DVDのアンクルを選択します
- 35 **ZOOM/TUNER**** 画像を拡大します
- 36 **GOTO** ディスクの特定タイトル、チャプター、あるいは時間へ飛びます
- 37 **↶ (return)** DVDのマルチレベルメニューから戻ります



上記以外のキーおよび機能は本機では使用しませんが、弊社の他製品で使用できます。

* 本機を KNEKT システム内で使用するときに使います。

** 補助ソースを直接選択するためのソースキーです。



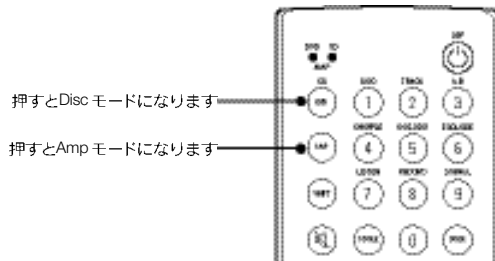
リモコンモード

本機のリモコンには、Disc (ディスク) モード、Amp (アンプ) モードの2種類の操作モードがあります。DVDやCDの再生時、あるいはチューナー使用時は、リモコンをDiscモードにしておいてください (再生、一時停止、チューニングなどのキー操作を行うため)。

- リモコンをDiscモードにするには、**[DVD]**を押します。

青色で表示されたコマンド (例: Audio Adjust、Lip Sync) を使用するには、リモコンをAmpモードにする必要があります。

- リモコンをAmpモードにするには、**[AMP]**を押します。



リモコン使用時に本機が思ったように反応しないケースがあります。その理由として、リモコンが誤った操作モードになっていることが考えられます。このような場合、**[DVD]**キーを押してDiscモードにするか、**[AMP]**キーを押してAmpモードにしてください。

本機に弊社の補助CDプレイヤーまたはチューナーを接続している場合や本機と同じ部屋でこれらの補助機器を使用している場合、補助機器、本機がともにリモコンのキー操作に反応することがあります。

* チューナー操作キー (**PRESET**、**SCAN** etc.) は、リモコンの操作モードに関係なく、いつでも操作ができます。

リモコンのキー操作に反応しないように弊社の補助CDプレイヤーを操作するには、次のように行ってください:

- 本機ของผู้ザーオプション設定モードに入り、[CD Commands Accepted] を以下のように設定します: CDを**[No]**にします (51ページの「ユーザーオプション」の項をご参照ください)。
- 本機のリモコンで**[SHIFT]**を押した後、**[DVD]**を押します。

これで本機に影響を与えることなく、リモコンでCDプレイヤーを操作できるようになります。

リモコンのキー操作に反応しないように弊社の補助チューナーを操作するには、次のように行ってください:

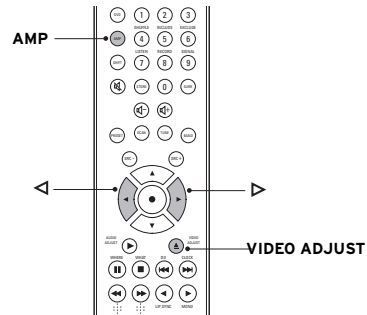
- 本機ของผู้ザーオプション設定モードに入り、[Enable Auto Selection] を以下のように設定します: チューナーを**[Off]**にします (51ページの「ユーザーオプション」の項をご参照ください)。

これで本機に影響を与えることなく、リモコンでチューナーを操作できるようになります。

リモコンで本機を操作できるようにするには、**[DVD]**キーを押してリモコンをDiscモード (CDまたはDVDを再生) に切り替えるか、**[SRC - / SRC +]**を使用してTunerソース (チューナーを操作) を選択します。

映像出力

CLASSIK Movieを設定して操作する前に、本機がTVに適した映像信号を出力していることを必ず確認してください。



適切な映像出力信号を選択する：

- クラシックムービーはディスクソース機器として設定されています(リモコンの操作を受け付けないときは、DVDボタンを押し、その後ディスク操作関連のキー、例えば■を押して下さい)。
- リモコンの「AMP」を押してAmpモードを選択します。
- 「VIDEO ADJUST」を押します。画面が切り替わり、映像規格PAL、NTSC、NATIVE (PAL、NTSC両方の規格に対応するTVの場合) のいずれか1つが表示されます。
- 適切なフォーマットが画面に表示されるまで、◀/▶を繰り返し押します。
- 前面パネルディスプレイに適切なフォーマットが表示された状態で、再度「VIDEO ADJUST」を押します。画面が切り替わり、映像信号タイプのいずれか1つ(S VIDEO、COMPOSITE、YPrPb、RGB*のいずれか)が表示されます。

* 規則に従い、RGBは本機のPhono仕様には対応できません。

- 適切な映像信号タイプが画面に表示されるまで、◀/▶を繰り返し押します。

数秒経過すると、画面は元の表示に戻ります。

セットアップメニュー

セットアップメニューについて

オンスクリーンでのセットアップメニューにより、お使いのシステムのスピーカーの数やTVの画面フォーマットなどに合わせて本機を設定することができます。充分にお楽しみいただけるよう、是非時間をかけて本機の設定を正しく行ってください。

セットアップメニューには5種類の項目があります：

General Setup (一般設定)

本機の音声と映像の設定一般を調整。

Speaker Setup (スピーカー設定)

お使いのスピーカーの数、サイズ、位置に合わせた本機の設定。

Video Source Setup (映像ソース設定)

補助ソースで使用する本機の映像出力の設定。

Audio Setup (音声設定)

本機の音声出力の設定。

Preferences (お好み設定)

字幕や視聴制限などの追加機能の設定。(ディスク再生中この設定はできません)

セットアップメニューを呼び出す：

TVの電源を入れ、本機の出力映像信号が表示されるのを確認します。

- リモコンの[DVD]を押します。(リモコンがすでにDisc(ディスク)モードに入っていれば必要ありません。16ページをご参照ください)
- リモコンの[SETUP]を押します。TV画面に[Setup Menu] (セットアップメニュー) の[Main Page] (メインページ) が表れます。



設定項目を選択決定する：

- リモコンの▲/▼/◀/▶キーで設定項目を移動します。
- オプションを選択するには、リモコンの[select]を押します。

セットアップメニューから出る：

- リモコンの[SETUP]を押します。

あるいは

1. リモコンの▲/▼キーでサブメニュー項目の下にある[Main Page] (メインページ) を選択します。
2. [select] を押し、[Setup Menu] (セットアップメニュー) の[Main Page] (メインページ) へ戻ります。
3. ▼キーで[Exit Setup] (セットアップメニューから出る) を選択します。[select] を押します。

セットアップメニューには項目によって、すぐに変更が反映されるものと、設定画面から出た後に変更が行われるものがあります。

General Setup (一般設定)

Setup Language (言語の設定)

デフォルト設定: English (英語)

セットアップメニューや画面に表示される情報に使用する言語を選択します。



Video Standard (映像規格)

デフォルト設定: Native (ネイティブ)

すでにご使用のTVの映像規格を選択している場合(17ページの「映像出力」の項を参照、この操作は省いてください。



お使いのTVが対応している映像規格を選択します。NTSCとPALフォーマットの両方に対応する場合は「Native」(ネイティブ)に設定します。

注記:

映像規格で「Native」(ネイティブ)を設定しDVDを再生すると、画面がちらつくことがあります。これは本機が映像規格を切り替える際生じるものです。

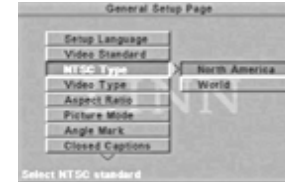
ご使用のTVがNTSCまたはPALいずれかの単一規格しか対応しない場合、他の規格で録画されたDVDを本機で再生してもご覧になれないことがあります。

NTSC Type (黒レベル)

デフォルト設定: North America (北米)
(NTSC信号を標準とするTV)

このオプションの設定では、映像信号の黒レベルが制御されます。

ご使用のTVが北米製の場合、「North America」に設定してください。ご使用のTVが北米製でない場合、「World」に設定してください。

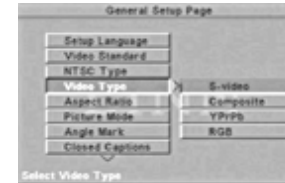


Video Type (映像の種類)

デフォルト設定: S映像

すでにご使用のTVの映像信号の種類を選択している場合(17ページの「映像出力」の項を参照、この操作は省いてください。

ご使用のTVに対応する映像信号を選択します。表示されるオプションは、最高画質から最低画質までです。



ご使用のTVがRGB信号に対応し、本機をそのようにTVに接続している場合は、「RGB」に設定してください。*

ご使用のTVがYPrPbあるいはYUV信号に対応し、本機をそのようにTVに接続している場合は、「YPrPb」に設定してください。

ご使用のTVがS映像信号に対応し、本機をそのようにTVに接続している場合は、「S-video」に設定してください。

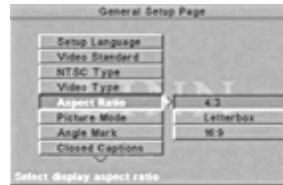
ご使用のTVがS映像、RGB、YPrPb/YUVいずれの信号にも対応していない場合は、「Composite」に設定します。

* 規則に従い、RGBオプションは本機のPhono仕様には対応できません。

Aspect Ratio (画質比率)

デフォルト設定: 16:9

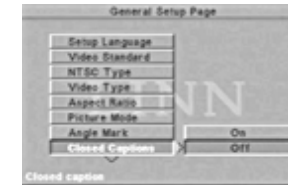
「[4:3]」、「Letterbox」(レターボックス)、「[16:9]」の中から、ご使用のTVに合う画面サイズを選択します。



Closed Captions (字幕)

デフォルト設定: Off

字幕付きDVDの場合に、その字幕(聴覚障害者用)を表示させるとき「On」に設定します。

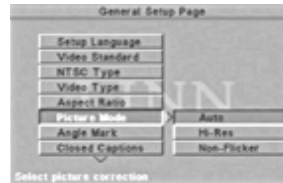


Picture Mode (ピクチャーモード)

デフォルト設定: Auto

映画フィルムの一コマをデジタルフォーマットに切り替えてDVDに保存するプロセスが原因で、TV画面にちらつきが出る場合があります。これを防ぐために、本機では「High-Res (高解像)」あるいは「Non-Flicker (ちらつき防止)」を選択することができます。

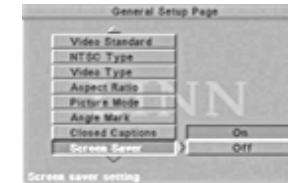
各DVDビデオによってどちらが適当であるか異なるため、ディスクごとに最適な方法を自動的に判断する「Auto」設定をお使いになることを推奨いたします。



Screen Saver (スクリーンセーバー)

デフォルト設定: On

静止画を長い時間表示し続けているとTV画面に焼き付いてしまう恐れがあります。プラズマ画面の場合、特にその傾向があります。この設定を「On」にすると3分後にスクリーンセーバー(ブランク画面)に切り替わります。スクリーンセーバーを解除するにはリモコンの「select」を押します。



Angle Mark (アングルマーク)

デフォルト設定: Off

設定が「On」のとき、マークが画面に表示され、ご覧のDVDがマルチアングル収録された場面であることを知らせます。このマークの隣には利用可能なカメラアングルの数も表示されます。



Speaker Setup (スピーカー設定)

サブウーファーを除き、お使いのシステムのいずれのスピーカーについても、スピーカーが**Large (大型)**、**Small (小型)** のどちらであるのかを本機に知らせる必要があります。これらの設定は、スピーカーの周波数特性についてであり、物理的なサイズについてはありません。**大型**スピーカーとは、フルレンジの周波数特性を持つものを指します(つまり低音域から高音域までの周波数を再現できるもの)。**小型**スピーカーとは、低音域の応答が制限されたものを指します(つまり低音域の周波数を再現できないもの)。**小型**スピーカーで再現できない低音域の周波数は、サブウーファー使用時はサブウーファーに、それ以外は**大型**スピーカーに送られます。

Front (フロント)

デフォルト設定: **Large (大型)**

お使いのシステムのスピーカーに最も適した項目を選択します:

大型(フルレンジ)のフロントスピーカーを使用しているとき、**[Large]**に設定します。小型のフロントスピーカー(低音域が制限)を使用しているとき、**[Small]**に設定します。

注記:

お使いのフロントスピーカーに選択した設定によって、他のスピーカーで利用できる項目が変わります。

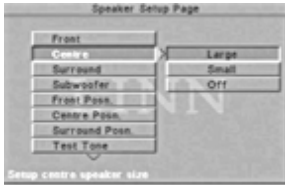


Centre (センター)

デフォルト設定: **Large (大型)**

お使いのシステムに最も適したスピーカー設定を選択します:

大型(フルレンジ)のセンタースピーカーを使用しているとき、**[Large]**に設定します。小型のセンタースピーカー(低音域が制限)を使用しているとき、**[Small]**に設定します。センタースピーカーを使用しないときは、**[Off]**に設定します。



Surround (サラウンド)

デフォルト設定: **Large (大型)**

お使いのシステムのスピーカーに最も適した項目を選択します:

大型(フルレンジ)のサラウンドスピーカーを使用しているとき、**[Large]**に設定します。小型のサラウンドスピーカー(低音域が制限)を使用しているとき、**[Small]**に設定します。サラウンドスピーカーを使用しないときは、**[Off]**に設定します。

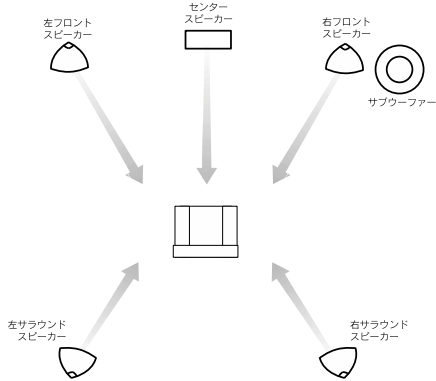


Subwoofer (サブウーファー)

デフォルト設定: **On**

サブウーファーを接続している場合、**[On]**に設定します。サブウーファーを接続していない場合、**[Off]**に設定します。

次のメニューで本機にスピーカーの位置を設定すると、本機は特定のスピーカーに対して必要に応じてタイムディレイ(遅延)を与えることができます。これにより、リスニングポジションに向けて、すべてのスピーカーから同時に音が到達するようにします。



Front Posn (フロントポジション)

デフォルト設定: 1.5 m/5 ft

リスニングポジションからフロントスピーカーまでの平均距離を測ります。

1.5 m/5 ft オプションを選択し、次にリモコンの▼キーを使用して距離を選択します(最長9.2 m/30 ft)。

リモコンの [select] を押して必要な設定を選択します。



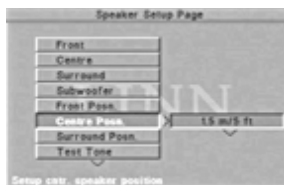
Centre Posn (センターポジション)

デフォルト設定: 1.5 m/5 ft

リスニングポジションからセンタースピーカーまでの距離を測ります。

1.5 m/5 ft オプションを選択し、次にリモコンの▼キーを使用して距離を選択します(最長9.2 m/30 ft)。

リモコンの [select] を押して必要な設定を選択します。



Surround Posn (サラウンドポジション)

デフォルト設定: 1.5 m/5 ft

リスニングポジションからサラウンドスピーカーまでの平均距離を測ります。

1.5 m/5 ft オプションを選択し、次にリモコンの▼キーを使用して距離を選択します(最長9.2 m/30 ft)。



リモコンの [select] を押して必要な設定を選択します。

注記:

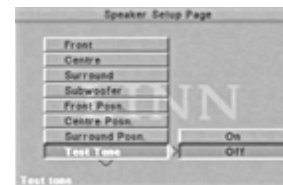
サブウーファーにディレイタイムを入力する必要はありません。

Test Tone (テストトーン)

デフォルト設定: Off

[On] に設定すると、トーン信号がフロント左から時計回りにスピーカー(サブウーファーは除く) 一台一台に送られます。

テストトーンには2つの役割があります:



1. スピーカー接続の確認

スピーカーが正しく接続されていないと、トーンは聞こえてこないか、あるいは時計回りの順番を逸脱してスピーカーを飛ばしてしまいます(これはスピーカーが本機の間違った出力に接続されていることになります)*

2. スピーカーの音量調整

テストトーンを使用して、リスニングポジションに届く各スピーカーからの音量が同じであることを確認します(サブウーファーの音量調整については、48ページの「サブウーファーとセンタースピーカートリム」の項をご参照ください)。

スピーカー音量調整を行う:

- 「Test Tone」(テストトーン) を [On] に設定します。本機の前面パネルにテストトーン表示が出ます。



- テストトーンが調整したいスピーカーから出力されるまで待ちます。
- リモコンの / キーを繰り返し押ししながら(あるいは押し続けながら) 適正音量に調整します。*

音量調整範囲は-10～+10 です(標準は0)。

/ キーを離して数秒経つと、テストトーンが時計回りに出力されます。

* 適正音量は、聴感で、あるいは音圧レベルメーターを用いて設定することができます。

Video Source Setup (映像ソースの設定)

さまざまなソースに対する本機の映像出力信号を選択するメニューです。これは例えば、同時にテレビ放映されているコンサートをチューナーソースで聴くような場合に役立ちます。この場合は、「Tuner Video」(チューナービデオ)を「Off」にして、本機が映像信号を出力しないようにします。別の例としては、セットトップボックスのS映像出力を本機の「S-VIDEO IN」(S映像入力)に接続し、セットトップボックスのデジタル音声出力を本機の「DIG 1」入力に接続しているなら、「Dig 1 Video」を「S-video In」に設定することになるでしょう。

Aux 1 Video と Aux 2 Video

デフォルト設定: **Internal (インターナル)**

Off — 「AUX 1」か「AUX 2」のソースいずれかが選択されていれば、本機から出力される映像信号はありません。



Internal (インターナル) — 「AUX 1」か「AUX 2」のソースいずれかが選択されていれば、本機は内部映像信号(Linnの画面)を出力します。

Composite In (コンポジット・イン) — **SCART仕様**: 「AUX 1」か「AUX 2」のソースいずれかが選択されていれば、本機のAUX AV SCART端子に接続されている映像ソースはいずれも、ユニットのTV SCART端子に送られます。**Phono仕様**: 「AUX 1」か「AUX 2」のソースいずれかが選択されていれば、本機のCVBS AUX端子に接続されている映像ソースはいずれも、ユニットのCVBS TV端子に送られます。

S-video In (Sビデオ・イン) — **SCART、Phono仕様**: 「AUX 1」か「AUX 2」のソースいずれかが選択されていれば、本機のS-VIDEO IN端子に接続されている映像ソースはいずれも、ユニットのS-VIDEO OUT端子に送られます。

RGB / YPrPb In — **SCART仕様**: 「AUX 1」か「AUX 2」のソースいずれかが選択されていれば、本機のAUX AV SCART端子に接続されている映像ソースはいずれも、ユニットのTV SCART端子に送られます。**Phono仕様**: 「AUX 1」か「AUX 2」のソースいずれかが選択されていれば、本機のYPrPb AUX端子に接続されている映像ソースはいずれも、ユニットのYPrPb TV端子に送られます。

Tuner Video (チューナービデオ)

デフォルト設定: **Internal (インターナル)**

「Aux 1 Video」、「Aux 2 Video」のソースと同様です。



AUX AV Video

(SCART バージョンのAUX AV SCART 入力とPhono バージョンのAUX AV AUDIO IN 入力に適用)

デフォルト設定: **コンポジット・イン**

[Aux 1 Video]、[Aux 2 Video] のソースと同様ですが、**[Off]**、**[Internal]** のオプションは使えません。



Dig 1 Video と Dig 2 Video

デフォルト設定: **Internal (インターナル)**

[Aux 1 Video]、[Aux 2 Video] のソースと同様です。



KNEKT Video

(KNEKT システム用。KNEKT の取扱説明書をご参照ください)

デフォルト設定: **Internal (インターナル)**

[Aux 1 Video]、[Aux 2 Video] のソースと同様です。



Audio Setup (音声設定)

Digital Out (デジタル出力)

デフォルト設定: **Off**

このメニューは、本機の [DIGITAL OUT] (デジタル出力) に対応します。

本機をスタンドアロンでご使用の場合、つまり外部のAV受信機を使用していない場合、**[Off]** に設定してください ([DIGITAL OUT] からの出力はありません)。



外部AV受信機をご使用の場合、**[Raw]** ([DIGITAL OUT] からのデータはソースデータと同一) に設定します。

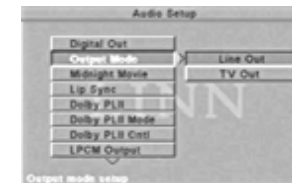
外部デジタルソース (DAT プレーヤーなど) へ録音するとき、**[LrRt PCM]** (マルチチャンネル信号はダウンミックスされて2チャンネルになります) に設定します。

Output Mode (出力モード)

デフォルト設定: **Line Out (ライン出力)**

本機からの音声出力を聴くのにTVの内蔵スピーカーのみをご使用の場合、**[TV Out]** に設定します。

TV以外のスピーカーをご使用の場合、**[Line Out]** に設定します。



**Midnight Movie
(ミッドナイト・ムービー)**

デフォルト設定: **Off**

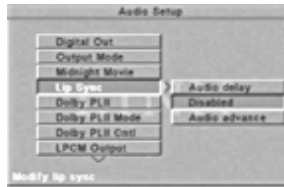
DVDでドルビーデジタル音声信号を圧縮し音量を落とすことができる機能です。爆発シーンなどで瞬間的に増す音量を抑えます。夜間にDVDを見ているときなどに適しています。信号を圧縮して音量を落としたいときは「On」に設定します。



Lip Sync (リップシンク)

デフォルト設定: **Disabled**

この機能を使用すると、本機の音声出力を若干遅らせたり進めたりすることができます。映像ソースを見ているときに俳優の口の動きと音声合わない場合、この機能の使用が必要となることがあります。



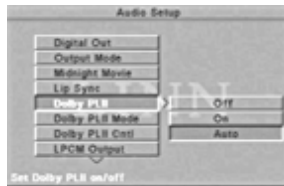
ご使用のAVシステムでラインダブラーを使用する場合、「Audio Delay」に設定します。

外部の映像ソースにドルビープロロジックIIデコーディングを適用する場合、「Audio Advance」に設定します。

**Dolby Pro Logic II
(ドルビープロロジックII)**

デフォルト設定: **Auto**

このメニューは、本機にフロントスピーカー、センタースピーカー、サラウンドスピーカーを接続した場合の使用が適しています。



ドルビープロロジックIIは、オーディオCD、ステレオチューナー信号、TV 音声信号などの内部または補助入力2チャンネルソースから、5チャンネル出力を生成します。最先端のサラウンドデコーダーが、新しい音を追加することなく、オリジナルの信号から空間的な要素を抽出します。

必要に応じた設定を選択します：

	DVD	他のソース
Off	ステレオトラックをステレオとして再生	ステレオソースは常にステレオとして再生
On	ステレオトラックをステレオとして、または最大5チャンネルにデコードして再生(選択されている音声モードによる。45ページの「サラウンドサウンドとオーディオモード」を参照)	ステレオソースをステレオとして、または最大5チャンネルにデコードして再生(選択されている音声モードによる。45ページの「サラウンドサウンドとオーディオモード」を参照)
Auto	本機がDVDに記録されているコードを読み取り、音声フォーマットを自動的に選択	上記に同じ

Dolby Pro Logic II Mode (ドルビープロロジックII モード)

デフォルト設定: **Movie (映画)**

このメニューは、本機にフロント、センター、サラウンドのスピーカーを接続した場合の使用に適しています。



[Dolby Pro Logic II Mode] メニューによって、さまざまなタイプのドルビープロロジックII が利用できます。[Dolby Pro Logic II Mode] で選択するオプションは、[Dolby Pro Logic II] メニュー (上記) が [On] または [Auto] に設定されているときに使用されます。DVD や CD の再生時など、[Dolby Pro Logic II Mode] の設定を変更したい場合、このメニューに戻らなくても、リモコンの [SURR] キーで設定を調整することができます。(45 ページの「サラウンドサウンドとオーディオモード」の項をご参照ください)。

Dolby Pro Logic (ドルビープロロジック)

オリジナル・ドルビープロロジックによるサラウンドプロセッシングを再現します。

[Dolby Pro Logic] 設定は、ソースの品質が良好ではない場合(磨耗したビデオテープなど)に適しています。

Music (ミュージック)

名称の通り、音楽を聴く場合に適したモードです。[Music] モードを選択すると、[Dolby Pro Logic II Control] メニューから [Dolby Pro Logic II] のパラメータを調整することができます(下記を参照のこと)。

Movie (ムービー)

DVD をご覧になるときの推奨モードです。

Matrix (マトリックス)

[Matrix] モードは、モノ信号 (AM 放送など) を豊かに聴かせます。

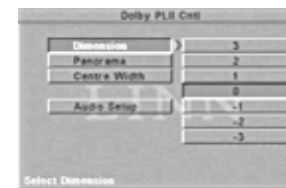
Dolby Pro Logic II Control (ドルビープロロジックII コントロール)

[Dolby Pro Logic II Mode] メニューで [Music] を選択した場合、[Dolby Pro Logic II Control] メニューに入れるようになります。[Dolby Pro Logic II Control] にカーソルを合わせ、[select] を押すと、[Dolby Pro Logic II Control] 画面が表示されます。

Dimension (ディメンション)

デフォルト設定: **0**

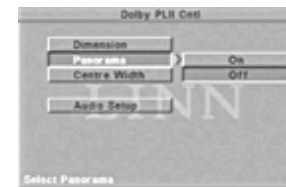
[Dimension] コントロールで、フロントとサラウンドのスピーカー間バランスを調整することができます。プラス値にするとサウンドがフロントへ、マイナス値にするとリアへ移動します。サラウンドスピーカーからのサウンドが広がりがすぎている、また強すぎると感じられたら、「前へ」移動してバランスを調整します。ステレオ録音のソースなら、サウンドを「後ろへ」移動して、臨場感を高めることができます。



Panorama (パノラマ)

デフォルト設定: **Off**

これを [On] に設定すると、[Panorama] コントロールがフロント左右スピーカーからの音声信号を拡張し、サラウンド左右のスピーカーまで抱合します。これにより、サウンドに「包まれる」ような効果が生じます。



Centre Width (センター幅)

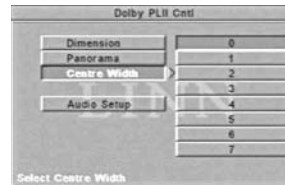
デフォルト設定 : 0

センタースピーカーとフロント左右スピーカー間の音声信号の調整を可能にするコントロールです。

「0」に設定すると、センターチャンネルへの音声信号すべてがセンタースピーカーに送られます。

「3」にすると、センターチャンネル信号の一部がフロント左右スピーカーにも送られます。

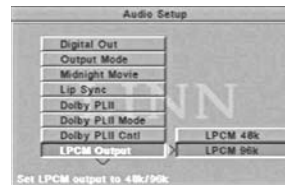
「7」にすると、センターチャンネル信号のすべてが、フロント左右スピーカーに等分に分配されます。



LPCM Output (LPCM 出力)

デフォルト設定 : LPCM 96K

外部 AV 受信機で本機の音声信号を処理していて、そのデコーダー (AV 受信機) が 96K サンプルレートをサポートしない場合、「LPCM 48K」オプションに設定してください。



Preference (お好み設定)

Audio (音声)*

デフォルト設定 : English (英語)

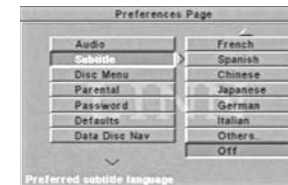
このメニューを使用して DVD で使用する音声言語を設定します。



Subtitle (字幕)*

デフォルト設定 : Off

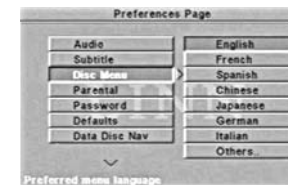
お好みの字幕言語を設定します。この項目が「Off」設定でも DVD によっては字幕が表示されることがあります。そのときはリモコンの「SUB-T」を押して字幕を消してください。



Disc Menu (ディスクメニュー)*

デフォルト設定 : English (英語)

このメニューを使用して DVD で使用するテキスト言語を設定します。



* 表示されている以外の言語を選択するときは、カーソルを「Others」へ移動し、「select」を押します。リモコンの数字キーを使って、設定したい言語を表す4ケタのコードを入力してください。言語コード表は、www.linn.co.uk でご覧ください。

選択した言語に関係なく、DVD ご視聴の際に再生される言語は当該 DVD に収録された言語に限定されます。

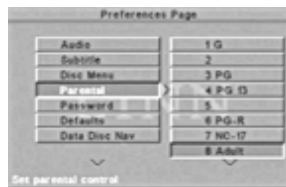
Parental (視聴制限)

デフォルト設定: **Adult**

このメニューは DVD に対して年齢制限を行う設定をします。*

視聴制限を設定・変更する:

1. カーソルを年齢制限したいレベルに移動し、**[select]** を押します。暗証番号の証明画面が表示されます。
2. リモコンの数字キーで4ケタの暗証番号を入力します (工場出荷時は3308です)。
3. 画面の指示に従って **[select]** を押します。
4. 設定画面から出ると、変更が有効になります。

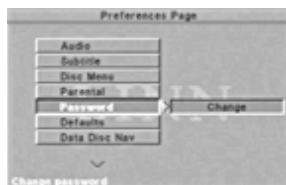


Password (パスワード)

デフォルト設定: **3308**

4ケタの暗証番号を設定・変更する:

1. カーソルを「**Change**」に移動し、**[select]** を押すと、暗証番号変更画面が表示されます。
2. リモコンの数字キーでこれまでの4ケタの暗証番号を入力します。
3. 新しい暗証番号を入力し、さらにもう一度入力して確認します。
4. 画面の指示に従って **[select]** を押します。これで新しい暗証番号が有効になります。



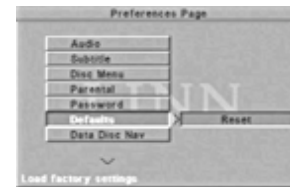
* DVD に正しい情報が入っていないと、視聴制限は機能しません。

Defaults (初期状態)

セットアップメニューをすべて初期状態の設定に戻すには、**[Reset]** にカーソルを移動して **[select]** を押します。

注記:

映像規格と映像タイプを初期状態の設定から変更した場合、本機からの画像が消えてしまうことがあります。必要な設定を元の値に戻すには、17 ページの「映像出力」の指示に従ってください。

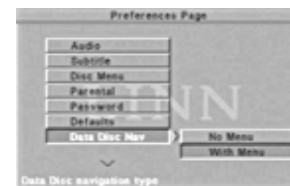


Data Disc Nav

(データディスクナビゲーション)

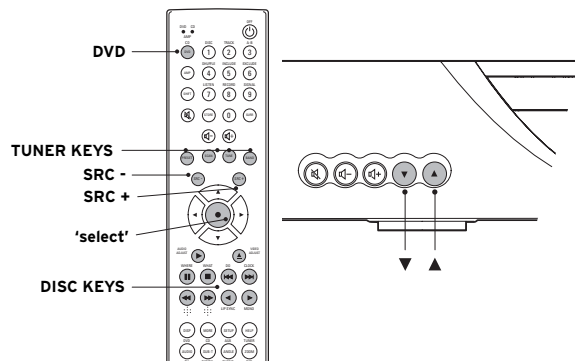
デフォルト設定: **With Menu**

MP3、JPEG、MPEG-2 ファイルが格納されたデータディスクで使用します。39 ページの「その他のファイル形式」をご参照ください。



ソースの選択

本機が対応しているソースは内部ソース2種類 (DISCおよびチューナー)、補助ソース6種類 (AUX 1、AUX 2、TV、AUX AV、DIG 1、DIG 2) の全8種類です。



ソースを選択する：
リモコン使用 —

- ディスクの再生は、「DVD」ボタンを押した後、ディスク操作関連のキーで行います。
- チューナーを選択する際は、チューナー関連のコマンドボタンのいずれかを押します。
- 補助ソースの場合、「SRC - / SRC +」を繰り返し押すかあるいは押し続け、選択したいソースが画面に表示されたら「select」を押します。


前面パネル使用 —

- 選択したいソースが画面に表示されるまで ▼/▲ を繰り返し押します。数秒するとソースが自動的に選択されます。

ディスクを再生する

ここでは本機のDVDとCDの再生の仕方とさまざまな特徴、ユーザー機能を説明します。

はじめに*

1. TVの電源を入れ、本機の映像出力信号を表示します。
2. TVの音声をミュート(消音)にします。
3. 本機前面パネルあるいはリモコンの  を押します。

Disc (ディスク) モードにする：

4. リモコンの「DVD」を押します。


あるいは

画面に「SOURCE DISC」と表示されるまで、前面パネルの ▼/▲ を繰り返し押すかあるいは押し続けます。少し待つと、前面パネルに下記のディスク表示が出ます。

NO DISC / UNKNOWN
0:00:00



* CDを聴く場合、上記の1、2は必要ありません。

注記:

DVD をご覧になっているときに前面パネルやリモコンを使うコマンドを入力すると、画面に  マークが出る場合があります。これは、その時点ではコマンド実行が不可能であること、あるいは再生中のタイトル/チャプターが終わってから入力してください、ということの意味します。















DVD 機能の中には、ディスクによって実行不能のものもあります。ご使用のDVD の解説をご参照ください。

本章に関連するアイコン

アイコン	意味
	DVD、DVD+R、DVD-R、DVD+RW、DVD-RW のための機能です
	CD、CD-R、CD-RW のための機能です

前面パネルのディスプレイ

前面パネルのディスプレイに使われるマーク:

-  再生
-  一時停止
-  停止
-  [play] を押して継続
-  次のチャプター/トラックへスキップする
-  前のチャプター/トラックへスキップする
-  早送り (サーチ)
-  早戻し (逆サーチ)
-  スロー再生 (サーチ)
-  スロー逆再生 (サーチ)
-  早送りスキャン
-  早戻しスキャン
-  スロースキャン
-  スロー逆スキャン

再生中のディスクの時間情報も表示されます。

リモコンの **[DISP]** (ディスプレイ) を押すたびに、以下の順序で情報が表示されます:

前面パネルの表示	意味
(記号なし)	チャプター/トラックの経過時間
-	チャプター/トラックの残り時間
T	全体の経過時間
I	全体の残り時間

前面パネルの時間情報の左右に、DVD と CD のディスクに関する追加情報が表示されます。

DVD の場合

時間表示の左 — 再生中のタイトル番号

時間表示の右 — 再生中のチャプター番号

CD の場合

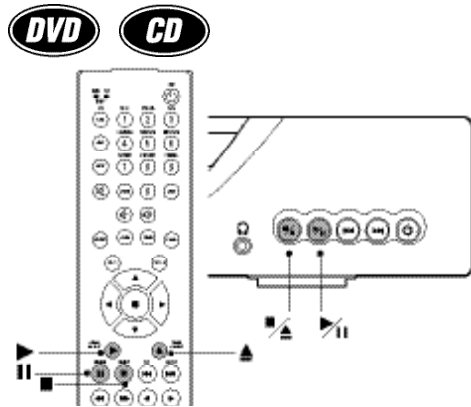
時間表示の左 — 全体のトラック数

時間表示の右 — 再生中のトラック番号

注記:

DVD (と CD) の時間情報は、TV 画面にも表示されます。TV 画面から時間表示を消すには、表示されなくなるまでリモコンの **[DISP]** を繰り返し押します。

基本操作



本機がDiscモードになっていることを確認します(29ページの「はじめに」の項をご参照ください)。

ディスク再生:

- リモコンの▲または前面パネルの■/▲を押してディスクトレイを開けます。
- 再生する面を下にしてディスクを入れます。
- ▲または■/▲を押すか、ディスクトレイをそっと押して、トレイを閉めます。
- DVDは自動的に再生を始めます。CDを再生するには、リモコンの▶または前面パネルの▶/||を押して再生を始めます。

注記:

ディスクにキズをつけないように気をつけてください。ディスクにキズがあると正しく再生できないことがあります。特にDVDの場合は気をつけてください。

DVDの再生が始まるまで10秒ほどかかることがあります。

ディスクの一時停止:

- リモコンの||または前面パネルの▶/||を押します。

再生を再開する:

- リモコンの▶または前面パネルの▶/||を押します。

再生を停止する:

- リモコンの■または前面パネルの■/▲を押します。

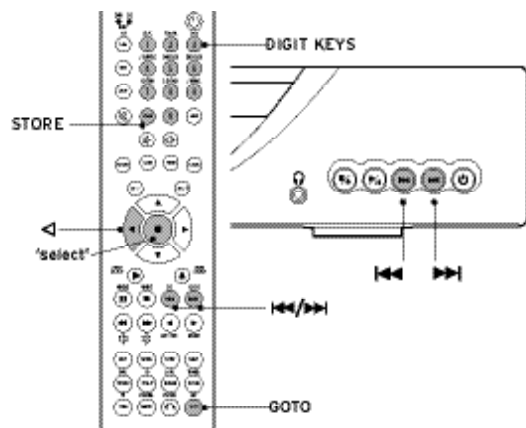
ディスクを取り出す:

- リモコンの▲を押すか、前面パネルの■/▲を押し続けると、ディスクトレイが開きます。
- ディスクを取り出し、ディスクトレイを閉めます。

注記:

DVDの場合、■または■/▲を1回押すと、▶または▶/||を押すことによって停止した時点から再生を続けることが可能です。完全にディスクを停止するにはもう一度■または■/▲を押します。

ディスクのタイトル/チャプター/トラックの頭出し



注記:
DVDは通常1つまたは複数のタイトルに分割されています。タイトルは通常チャプターに分かれています。CDはトラックに分かれています。

次/前のチャプター/トラックの選択



ディスクのチャプター/トラックの前後にスキップする:
前面パネル/リモコン使用 —

- 前にスキップするには、▶▶ を押し続けるかあるいは繰り返し押します。
- 後ろにスキップするには、◀◀ を押し続けるかあるいは繰り返し押します。

ダイレクトタイトル選択



メニューページを表示中、DVDのタイトルにダイレクトに飛ぶ:
リモコン使用 —

- 「GOTO」を押します。
TV画面に再生中のタイトルを示す数字がハイライトされます。
- 数字キーを使って、ジャンプ先のタイトル番号を入力します。
- 「select」を押します。

タイトル再生中、DVDの別タイトルにダイレクトに飛ぶ:
リモコン使用 —

- 「GOTO」を押し、続けて◀を押します。
TV画面に再生中のタイトルを示す数字がハイライトされます。
- 数字キーを使って、ジャンプ先のタイトル番号を入力します。
- 「select」を押します。

ダイレクトチャプター選択



タイトルを再生中、DVDの特定のチャプターにダイレクトに飛ぶ:
リモコン使用 —

- 「GOTO」を押します。
TV画面に再生中のチャプターを示す数字がハイライトされます。
- 数字キーを使って、ジャンプ先のチャプター番号を入力します。
- 「select」を押します。

ダイレクトトラック選択



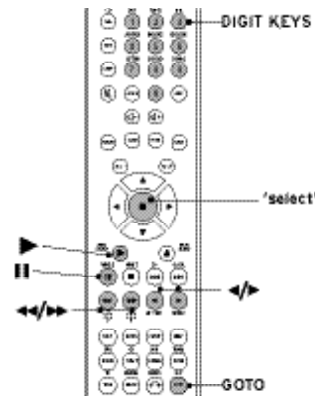
特定のトラックを選択する：
リモコン使用 —

- 数字キーでトラック番号を入力します。
- 「STORE」を押すか、自動的にトラックが選択されるまで数秒待ちます。

注記：

プログラムモードが機能しており、トラックがプログラムに含まれていない場合には、トラック選択はできません(36～37ページの「プログラム再生と除外再生」の項をご参照ください)。

ディスクの特定ポイントを探す



早送り/早戻し (サーチ)



ディスク再生中に早送り/早戻しでサーチする：
リモコン使用 —

- 早送りをするには▶▶ を押し続けます。
- 早戻しをするには◀◀ を押し続けます。

スキャン再生/逆再生



ディスク再生中に早送り/早戻しでスキャンする：

リモコン使用一

- 2倍速再生するには▶を押します。
- ▶を押すごとに4倍速再生、6倍速再生、8倍速再生となります。さらに▶を押すと通常再生に戻ります。
- 2倍速逆再生するには◀を押します。
- ◀を押すごとに4倍速逆再生、6倍速逆再生、8倍速逆再生となります。さらに◀を押すと通常再生に戻ります。

スロー再生/逆再生(サーチ)



DVDを再生中、コマ送りで再生/逆再生する:

リモコン使用一

- ||を押して、一時停止します。
- スロー再生するには▶▶を繰り返し押し続けるかあるいは押し続けます。
- スロー逆再生するには◀◀を繰り返し押し続けるかあるいは押し続けます。
- ▶<play>を押すと、通常の再生に戻ります。

スロースキャン再生/逆再生



DVDを再生中、スロースキャン再生/逆再生する:

リモコン使用一

- 1/2倍速再生するには||を押したあと▶を押します。

▶を押すごとに1/4倍速再生、1/6倍速再生、1/8倍速再生になります。さらに▶を押すと通常の再生に戻ります。

- 1/2倍速逆再生するには||を押したあと◀を押します。

◀を押すごとに1/4倍速逆再生、1/6倍速逆再生、1/8倍速逆再生になります。さらに◀を押すと通常再生に戻ります。

ダイレクトタイム選択



タイトルを再生中、DVDの特定個所にダイレクトに飛ぶ:

リモコン使用一

- [GOTO]を押します。

TV画面に再生中のチャプターを示す数字がハイライトされます。

- もう一度[GOTO]を押します。

- 数字キーで見たい時間を入力します。時間は6ケタで入力しなければなりません。

例:

DVDタイトルの1時間15分32秒の個所へ飛ぶには、0、1、1、5、3、2と押します。

TVに入力した時間が表示されます。

- [select]を押します。

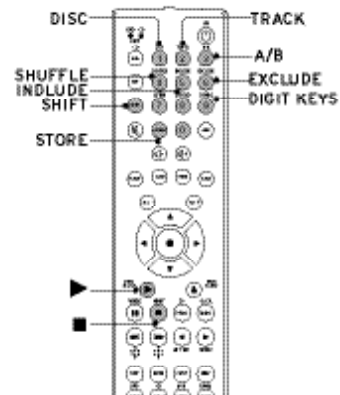
トラックの繰り返し再生



再生中のトラックを繰り返し再生する：
リモコン使用 —

- ▶ を押します。

プログラムモードで再生する



ディスクの繰り返し再生



CD/DVD タイトル全体を繰り返し再生する：
リモコン使用 —

- ディスク再生中、[SHIFT] を押し、2 秒以内に [DISC] (数字キーの1) を押します。

前面パネルのディスプレイに「ALL」と表示されます。

CD / タイトルが終わると、自動的に再生を繰り返します。

ディスク繰り返し再生モードを解除し、通常再生に戻る：

- [SHIFT] を押し、2 秒以内に [DISC] を押します。

チャプター/トラックの繰り返し再生



特定のチャプター/トラックを繰り返し再生する：
リモコン使用 —

- 選択したチャプター/トラックを再生中に、[SHIFT] を押し、2 秒以内に [TRACK] (数字キーの2) を押します。

前面パネルのディスプレイに「ONE」と表示されます。

選択したチャプター/トラックが終わると、自動的に再生を繰り返します。

チャプター/トラック繰り返し再生モードを解除し、通常再生に戻る：

- [SHIFT] を押し、2 秒以内に [TRACK] を押します。

セクションの繰り返し再生



ディスクの特定セクションを繰り返し再生する:
リモコン使用 —

ディスクを再生中、繰り返し再生したいセクションの始まりを選択します —

- [SHIFT] を押し、2 秒以内に [A-B] (数字キーの3) を押します。

繰り返し再生したいセクションの最後まで再生を続けます —

- [SHIFT] を押し、2 秒以内に [A-B] を押します。

もう一度 [A-B] を押し、指定したセクションが自動的に繰り返し再生されます。

セクション繰り返し再生モードを解除し、通常再生に戻る:

- [SHIFT] を押し、2 秒以内に [A-B] を押します。

ヒント: (DVD のみ)

リピート指定セクションの始まりと終わりをうまくマークするために、[SHIFT]、[A-B] を押す前に一時停止すると便利です。

シャッフル再生



この機能は、ディスクを停止させてから操作します。

再生順にトラックをシャッフルする:
リモコン使用 —

- [SHIFT] を押し、2 秒以内に [SHUFFLE] (数字キーの4) を押します。

前面パネルのディスプレイに [SHF] と表示されます。

- ▶ を押し、再生が始まります。

シャッフルモードを解除する:

- ■ を押します。
- [SHIFT] を押し、2 秒以内に [SHUFFLE] を押します。

プログラム再生



ディスク中で再生したいトラックだけを選択するプログラムモードです。

この機能は、ディスクを停止させてから操作します。

再生するトラックを選択する:

リモコン使用 —

1. [SHIFT] を押し、2 秒以内に [INCLUDE] (数字キーの5) を押します。

前面パネルのディスプレイに [P01:00]、[INC] と表示されます。

2. 数字キーで指定するトラック番号を入力します。
3. [STORE] を押して指定したトラックを保存し、次のステップに進みます。
4. 上記の2 と3 の手順を繰り返して、指定したいトラックすべてを選択します。
5. ▶ を押してプログラムを保存し、指定したトラックの再生を開始します。

保存したプログラムを消去する/プログラム再生モードを解除する:

- [SHIFT] を押し、2 秒以内に [INCLUDE] を押します。

除外再生



ディスク中のトラックから再生しないトラックを指定するプログラムモードです。残りのトラックのみが再生されます。

この機能は、ディスクを停止させてから操作します。

再生から除外するトラックを選択する：

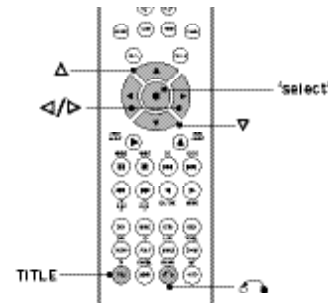
リモコン使用 —

1. 「SHIFT」を押し、2秒以内に「EXCLUDE」（数字キーの6）を押します。
前面パネルのディスプレイに「P01:00」、「EXC」と表示されます。
2. 数字キーで除外したいトラック番号を入力します。
3. 「STORE」を押して除外したいトラックを保存し、次のステップに進みます。
4. 上記の2と3の手順を繰り返して、除外したいトラックすべてを選択します。
5. ▶ を押してプログラムを保存し、除外しなかったトラックの再生を開始します。

保存したプログラムを消去する／除外再生モードを解除する：

- 「SHIFT」を押し、2秒以内に「EXCLUDE」を押します。

DVD メニューを使う



タイトル/DVD メニュー



多くのDVDには、再生したい部分を選択したり、機能を変更したりできるタイトルメニューがあります。

タイトル/DVD メニューを見る：

- リモコンの「TITLE」を押します。
TV画面にタイトル/DVDメニューが表示されます。
- 見たいタイトル、変更したい機能を ▲/▼/◀/▶ で選択します。
- 「select」を押します。

DVDによっては複数のメニュースクリーンを選択できるものがあります。

前の表示メニューに戻る：

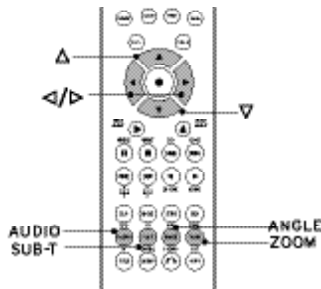
- ◀ を押します。

DVD をさらに使いこなす



言語選択

DVD の音声言語を選択する：
リモコン使用 —



- [AUDIO] を繰り返し押します。

注記：
この機能はディスクによって異なるため、DVD によっては操作できないことがあります。

字幕選択

表示可能な字幕の中から選択する：
リモコン使用 —

- [SUB-T] を押します。

アングル選択

DVD の中には、同一シーンを複数のカメラ(視点)で収めたマルチアングル機能を持つディスクがあります。

アングル選択を行う：
リモコン使用 —

- [ANGLE] を押します。
別アングルが選択されます。
さらに [ANGLE] を押すと、次のアングルが選択できます。

ズームとパン機能

ズーム機能により、DVD の映像をさまざまに拡大して見ることができます。パン機能では、拡大したDVD の映像を左右上下に移動することができます。

DVD を再生中あるいは一時停止中にズーム機能を使う：
リモコン使用 —

- [ZOOM] を押します。
映像が1.5 倍の拡大映像に変わり、TV 画面に [ZOOM 1.5] と表示されます。
[ZOOM] を押しごとに2 倍、3 倍のズーム映像になります。
もう一度 [ZOOM] を押すと通常の再生に戻ります。

拡大した映像をパンする：

- リモコンの Δ / ∇ / \blacktriangleleft / \blacktriangleright を繰り返し押します。

その他のファイル形式

本機では上記に加えて、次のようなファイルを再生することができます：データディスク (CD+R、CD+RW、DVD+R、DVD-R、DVD+RW、DVD-RW) に取められた MP3、JPEG、MPEG-2。

ファイルの再生：

1. TVの電源を入れ、本機の映像出力信号に合わせます。
2. TVの音声をミュート (消音) にします。
3. Discモードになっていなければ、リモコンの「DVD」を押します。
4. ディスクをユニットに入れます。数秒後、TVに「Disc Navigation」の画面が出て、ディスクのフォルダ構成を表示します。

注記：

ディスク内容を見るには、セットアップメニュー「Preferences」(お好み設定)の「Data Disc Nav」が「With Menu」に設定されている必要があります (28ページをご参照ください)。

5. 次の手順に従います。

リモコン使用 —

フォルダ/アイテムの間を移動するには ▲/▼ を使います。

フォルダの内容を見るには、フォルダにカーソルを当てて「select」を押します。

アイテムを再生するには、アイテムにカーソルを当てて「select」を押します。

アイテム中で、前後にスキップするときは、▶▶/◀◀ を押します。

MP3やMPEG-2ファイル再生中にサーチ/逆サーチを行うときは、▶▶/◀◀ を押します。

再生を停止するには、■を押します。

注記：

セットアップメニューの「Data Disc Nav」が「No Menu」に設定されている場合、「select」を押すと、本機に挿入されたディスクは、最初のフォルダの最初のアイテムから再生し始めます。▶▶、◀◀、▶▶、◀◀、■キーの機能は上記の通りです。

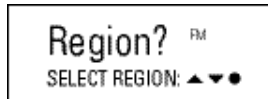
本機には、MP3、JPEG、MPEG-2ファイルを再生する追加機能があります。ホームページ (www.linn.co.uk) で、この機能に関するPDF文書が入手できます。

チューナー

ここでは本機のFM/AM チューナーの操作方法とさまざまな特徴、ユーザー機能を説明します。

セットアップ

最初にチューナーキー([PRESET]、[SCAN]、[TUNE]、[BAND])を押す、あるいはチューナーソースを選択すると、前面パネルに下記のような表示が出ます。




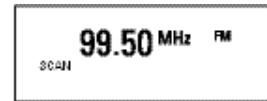
本機をお使いの国のラジオ周波域に正しく合わせる必要があります。リモコンの▲/▼キーで該当する地域(ヨーロッパ、米国、日本)を選択し、リモコンの[select]を押します。正しい設定に自信がなければ、最寄りの販売店にご相談ください。

リージョン(地域)設定を変更するには:

- リモコンのSHIFT ボタンを押した後、SIGNAL (数字の9) ボタンをディスプレイにRegion? が表示されるまで押し続けます。
- リモコンの▲/▼キーを使用して、希望のリージョンを選択した後、[select]を押します。

はじめに

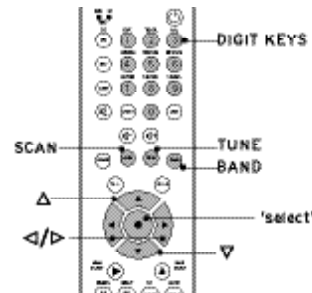
1. 本機の前面パネルまたはリモコンの  を押します。
2. リモコンのチューナーキーのいずれか([PRESET]、[SCAN]、[TUNE]、[BAND])を押します。前面パネルにチューナー表示が出ます。



あるいは

画面に[SOURCE TUNER]と表示されるまで、リモコンの[SRC - / SRC +]またはフロントパネルの▼/▲を繰り返し押すかあるいは押し続けます。数秒経過すると、画面は上記のチューナー表示に変わります。

チューニング機能



AM/FM 帯域の選択

AMとFMを切り替える:

- リモコンの「BAND」を押します。

前面パネルディスプレイに選択された帯域が表示されます。

周波数の選択

受信周波数を上げ下げする:

リモコン使用 —

- 「TUNE」を押します。

前面パネルのディスプレイに「TUNE」と表示されます。

- 周波数を上げ下げするには、▲/▼を繰り返し押し続けるかあるいは押し続けます。

あるいは

- 数字キーで周波数を入力します。

周波数を入力すると、それが有効となるように自動的に調整します。入力を誤った場合は、◀を押して解除します。

信号サーチ

この機能では、信号が見つかるまでAM/FM帯域を上下します。

信号をサーチする:

リモコン使用 —

- 前面パネルのディスプレイに「SEARCH」と出るまで、「SCAN」を繰り返し押し、その後押し続けます。
- 次の信号をサーチするには、▲を押します。
- 前の信号をサーチするには、▼を押します。

信号スキャン

これは信号サーチ(上記)と同一機能です。ただし、信号が見つかった後5秒間自動的に信号をスキャンし続けます。

信号をスキャンする:

リモコン使用 —

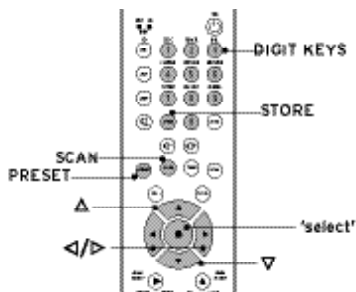
- 前面パネルのディスプレイに「SCAN」と出るまで、「SCAN」を繰り返し押し、その後押し続けます。
- 周波数帯域を前にスキャンするには、▲を押します。
- 周波数帯域を後ろにスキャンするには、▼を押します。

局を選択して信号スキャンを止める:

- 「SCAN」を押します。

プリセット機能

ここではプリセットした周波数の保存のしかたと利用手順を説明します(最大200)。



自動プリセット保存

すべての利用可能な信号を自動的にスキャンしそれらをプリセット保存する:
リモコン使用 —

- プリセット保存したい帯域を選択します。
- **[STORE]** を押します。
- **[SCAN]** を2度押します。前面パネルのディスプレイに「AUTOSTORE SEARCHING」と表示されます。

自動プリセット保存がスタートし、最低周波数から最高周波数まで続きます。各信号が見つかりと周波数をプリセット保存するために5秒間小休止します。

- 5秒の小休止をスキップして周波数をプリセット保存するときは、**▲** を押し続けます。スキャンを続行します。
- 5秒の小休止をスキップし、かつ周波数をプリセット保存しないときは、**▼** を押します。スキャンを続行します。

スキャンはチューナーが最大周波数に到達すると自動的に止まります。

プリセットには異なる名前をつけることもできます(このページの「手動プリセット保存」の項をご参照ください)。

自動プリセット保存は、AM と FM 帯域で別々に実行しなければなりません。

一度保存した周波数を再度保存することはできません。

手動プリセット保存

周波数を手動でプリセット保存する:
リモコン使用 —

1. チューナーを保存したい周波数に合わせます。
2. **[STORE]** を押します。
前面パネルのディスプレイに点滅するバーが表れ、その下に次のような表示が出ます: STORE : ▲ ▼ ● 0..9 ◀ ▶ TO EDIT
3. 各プリセットには、最大10文字の名前をつけることができます。

以下のリモコンキーで名前を入力します —

▲/▼ A～Z, 0～9, よく使用される記号が順に表示されます。

[select] 大文字と小文字を切り替えます。

数字キー 電話キーと同じ方法で、数字とアルファベットを入力するのに使用できます。例えば、2 を繰り返し押すと A/B/C/2 が、3 なら D/E/F/3 が順に出てきます。

- 希望の文字/数字/記号を選択したとき、次のスペースに移動するには、**▶** を押します。
- 文字を変更または削除するには、文字が点滅するまで **◀/▶** キーを使用した後、新しい文字を入力するか、**◀** を押し続けて文字を削除します。

- 文字を挿入するには、新しい文字を挿入したい箇所まで ◀/▶ キーで移動します。▶ を押し続けます。点滅する文字以下は1スペース分開けて右に寄ります。新しい文字を入力します。
4. プリセット名を入力し終わったら、[STORE]を押します。

プリセット選択

プリセットを選択する：
リモコン使用 —

- [PRESET]を押します。

前面パネルのディスプレイに [PRESET]が表示されます。

- ▲/▼ を繰り返し押すかあるいは押し続けます。(▲を押すと、まず数字順、次にアルファベット順でプリセットが表示されます。▼を押すと、逆順に表示されます。)

あるいは

◀/▶ を押すと、アルファベット各文字の最初/最後のプリセットを選択します。

あるいは

リモコンの数字キーで、プリセット名の最初の文字を入力します。A、B、C、2のいずれかで始まるプリセットの場合は数字キーの2を、D、E、F、3のいずれかで始まるプリセットの場合は数字キーの3を使用します。

前面パネルのディスプレイにプリセット名が表示されます。

プリセット削除

プリセットを削除する：
リモコン使用 —

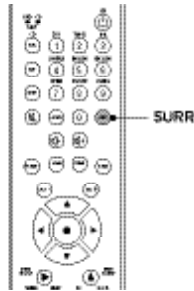
- 「PRESET」を押します。
- ▲/▼ で削除したいプリセットを選択します。
- 「PRESET」を押し続けます。前面パネルのディスプレイに「PRESS ● TO CLEAR」と表示されます。
- 「select」を押します。

ディスプレイは「PRESET CLEARED」となります。

すべてのプリセットを削除する：
リモコン使用 —

- 「PRESET」を短く押します。
- 前面パネルのディスプレイに「PRESS ● TO CLEAR」と表示されるまで「PRESET」を押し続けます。
- 「select」を押し続けて、ディスプレイに「ALL PRESETS CLEARED」の表示を出します。

サラウンドサウンドとオーディオモード



ほとんどのDVDには、1枚のディスクに複数のサラウンドサウンドフォーマットが収められています。最も一般的なものに、DTS、ドルビーデジタル、2チャンネルドルビーデジタルがあります。

DVDメニューでサラウンドサウンドフォーマットを選択すると(37ページの「DVDメニューを使う」の項をご参照ください)、必要ならスピーカーの使用本数を限定するよう音声モードをさらに修正することができます。

有効なオプションは次の通りです：

音声モード	使用するスピーカー
DTS Full*	5.1チャンネルが必要(フルレンジスピーカー5本とサブウーファー)
As Mix**	最大6本までのスピーカーの使用が可能
3 Stereo	フロントとセンター(装着してある場合はサブウーファーも)
Phantom	フロントとサラウンド(装着してある場合はサブウーファーも)
Stereo	フロントのみ(オーディオCD用デフォルト)
Stereo + Sub	フロントとサブウーファー

* DTSフォーマットをサポートしているディスクでのみ有効。

** データストリームがソースから来ていることを意味します(ステレオ、ドルビーデジタルなど)。5.1システムをご使用でない場合、マルチチャンネルオーディオソースはご使用のシステムのスピーカーの数に合わせてダウンミックスされます。

注記：

[DTS Full]を除く上記のすべての音声モードは、セットアップメニューでドルビープロロジックIIオプションが「On」または「Auto」に設定してあれば、CD再生時にも有効です(ディスクにDTS音声トラックが備わっている場合を除きます)(25ページの「ドルビープロロジックII」の項をご参照ください)。

ドルビーデジタルステレオのディスクでは、「ステレオ」と「ステレオ+サブ」以外の上記音声モードを使用したい場合、セットアップメニューでプロロジックIIオプションを「On」または「Auto」に設定する必要があります(25ページの「ドルビープロロジックII」の項をご参照ください)。

本機は、DTS、ドルビーデジタル、2チャンネルドルビーデジタル、AAC、上記音声モードのデジタル入力もサポートしています。

有効な音声モードを選択する：

- リモコンの「SURR」キーを繰り返し押します。
前面パネルのディスプレイに音声モードが表示されます。

「セットアップメニュー」に入ることなく、ドルビープロロジックIIモードを変更できます。

ドルビープロロジックIIモード

(現在の音声モードは「As Mix」「3 Stereo」「Phantom」であることを変更する：

- リモコンの「SURR」キーを押します。
現在の音声モードが画面に表示されます。
- 「SURR」を押し続けます。
現在のプロロジックIIモードが画面に表示されます。
- 「SURR」を繰り返し押して、異なるプロロジックIIモードの中から選択します。

ミッドナイト・ムービーモード

DVD でドルビーデジタル音声信号を圧縮し音量を落とすことができる機能です。爆発シーンなどで瞬間的に増す音量を抑えます。

ミッドナイト・ムービーモードをオン/オフする:

- リモコンの [SURR] キーを押し続けます。
深夜映画の現在の設定が画面に表示されます。
- この設定を変更するには、[SURR] を押します。

注記:

ミッドナイト・ムービーモードはセットアップメニューからもアクセスできます (25 ページのミッドナイト・ムービーの項目をご参照下さい)。

プリアンプ

ここでは本機のプリアンプの操作方法およびさまざまな特徴、ユーザー機能を説明します。

音量調整とミュート機能はリモコンで常時操作可能です。その他のプリアンプ機能を動作させるにはリモコンをAmpモードに設定する必要があります。

操作方法：

- リモコンの「AMP」ボタンを押します。

CLASSIK Movieでディスクの入力を操作するためには、リモコンをDiscモードに戻します。

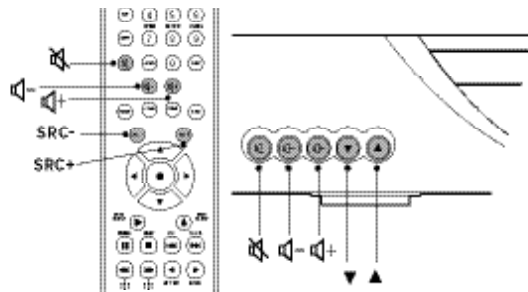
操作方法：

- リモコンの「DVD」ボタンを押します。

注記：

チューナー操作キー（PRESET、SCAN etc.）は、リモコンの操作モードに関係なく、いつでも操作ができます。

音量とミュート（消音）



音量調整

音量範囲は0～100です。

重要：

過大音量は、耳を痛めるとともに、ご使用のオーディオ機器に損傷を与えることがあります。

音量を調整する：

- $\text{A-}/\text{A+}$ を繰り返し押しするかあるいは押し続けます。

前面パネルに音量表示が出ます。

音量表示画面から出る：

- リモコンの「SRC - / SRC +」または前面パネルの▼または▲を押します。

あるいは

ディスプレイが前の表示に戻るまで数秒待ちます。

ミュート（消音）とミュート解除

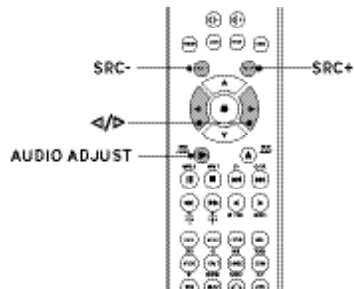
音声ソースをミュート/ミュート解除する：

- Mute を押します。

注記：

本機にヘッドフォンを接続すると、自動的にスピーカーやライン出力端子への音声ミュートされます。

トリム調整



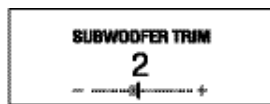
サブウーファーとセンタースピーカートリム

ご使用のAVシステムにサブウーファーやセンタースピーカーを使用する場合、DVDやCDの再生時に、他のスピーカーに影響を与えずにサブウーファーやセンタースピーカーの音量を調節したい場合があります。このような場合、サブウーファーまたはセンタースピーカートリムを調整して行います。

サブウーファーとセンタースピーカートリムの範囲は-10～+10です。ニュートラルトリムは0です。

サブウーファー/センタースピーカートリムのレベルを調整する：

- リモコンの「AUDIO ADJUST」を繰り返し押し、前面パネルにサブウーファーまたはセンタースピーカートリムの表示を出します。



- トリムのレベルを上げるには、▶を繰り返し押すかあるいは押し続けます。
- トリムのレベルを下げるには、◀を繰り返し押すかあるいは押し続けます。

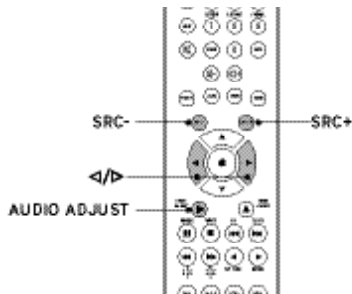
サブウーファー/センタースピーカートリム調整から出る：

- [SRC - / SRC +] を押します。

あるいは

使用中ソースの表示が変わるまで数秒待ちます。

バランス調整



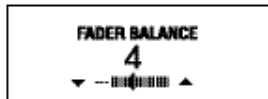
フェーダーバランスとマスターバランス

フロントスピーカーとサラウンドスピーカー間、または左右スピーカー間のバランスを変えます。

フェーダーバランス範囲はフロント10段階、リア10段階です。ニュートラルバランスは0です。マスターバランス範囲は左10段階、右10段階です。ニュートラルバランスは0です。

フェーダーバランス/マスターバランスを変える:

- リモコンの「AUDIO ADJUST」を繰り返し押して、前面パネルにフェーダーバランス/マスターバランス表示を出します。



- フェーダーバランス/マスターバランスをフロント/右へ動かすには、リモコンの▶を繰り返し押すかあるいは押し続けます。
- フェーダーバランス/マスターバランスをリア/左へ動かすには、リモコンの◀を繰り返し押すかあるいは押し続けます。

フェーダーバランス/マスターバランス調整から出る:

- 「SRC - / SRC +」を押します。

あるいは

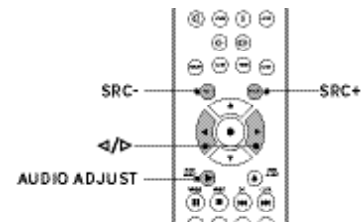
使用中ソースの表示が変わるまで数秒待ちます。

注記:

フェーダーバランスを変えるとセンタースピーカーには影響を与えますが、サブウーファーには影響しません。

マスターバランスを変えても、センタースピーカー、サブウーファーともに影響を受けません。

トーン調整



低域と高域の調整

低域と高域の調整範囲はそれぞれ-7 ~+7 です。ニュートラルは0 です。

低域/高域レベルを調整する:

- リモコンの「AUDIO ADJUST」を繰り返し押して、前面パネルに低域/高音域表示を出します。



- 低域/高域レベルを上げるには、リモコンの▶を繰り返し押すかあるいは押し続けます。
- 低域/高域レベルを下げるには、リモコンの◀を繰り返し押すかあるいは押し続けます。

低域/高域調整から出る:

- 「SRC - / SRC +」を押します。

あるいは

使用中ソースの表示が変わるまで数秒待ちます。

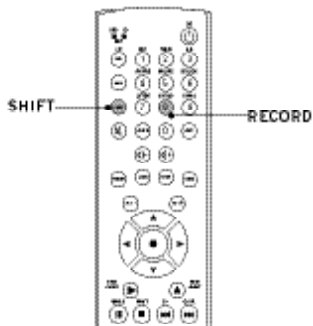
ソースのレコーディング

ディスク、チューナー、あるいは補助ソースの信号を本機から録音機器 (DAT レコーダー、ビデオデッキなど) に送ることができます。

利用するソースをリモコンまたは前面パネルで選択するだけで、ソース信号を録音機器に送ることができます。(本機の出力によって、現在選択しているソースの音声・映像信号が常時送られます)

注記:

著作権保護のため、DVD によっては、録音できないシステムが組み込まれていることがあります。



録音録画ロック

録音録画ロックを使用すると、録画・録音中にソースを変更できないようにすることができます。

録音録画ロックをオンにする:

リモコン使用 —

- 録音・録画したいソース名を画面に表示した状態で、[SHIFT] を押してから2 秒以内に [RECORD] (数字キーの8) を押します。

ディスプレイに [SOURCE (RECORD LOCKED)] が表示されます。

録音録画ロックをオフにする:

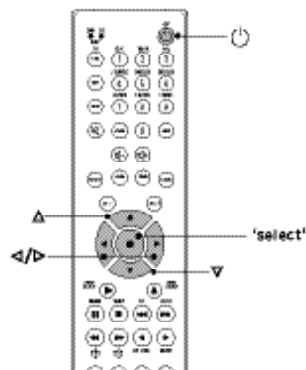
リモコン使用 —

- 録音・録画中のソース名を画面に表示した状態で、[SHIFT] を押してから2 秒以内に [RECORD] を押します。

[RECORD LOCKED] が画面から消えます。

ユーザーオプション

ここでは、本機の機能(下表を参照)をご使用になる方の希望に合わせて設定する方法を説明します。



ユーザーオプション設定の変更

ユーザーオプション設定を変更する：
前面パネル/リモコン使用

- 電源ボタンを押してスタンバイ状態にします。
- 電源ボタンを押し続けて、「User Options」の表示を出します。
- 希望のユーザーオプションを選択するには、▲あるいは▼を繰り返し押すかあるいは押し続けます。
- ユーザーオプション設定を変更するには、▶/◀を繰り返し押すかあるいは押し続けます。

ユーザーオプションを工場出荷時設定値に戻す：

- 希望のユーザーオプションを選択します。
- [select]を押します。

ユーザーオプションモードから出る：

- 電源ボタンを押します。

ユーザー設定が保存され、本体の電源が入ります。

ユーザーオプション一覧

可能なユーザーオプションとその設定を以下に簡単にまとめました。デフォルト設定値は太字で示しています。
また、前面パネル表示は「*」で示しています。

ユーザーオプション	内容	設定
Set display brightness	前面パネルのディスプレイの明るさを調整します。「Auto」に設定すると、本機が室内の明るさに応じて適切な明るさを選択します（室内が明るいほど、ディスプレイも明るくなります）。	Auto 2% - 100%
Enable source memory	オン：各ソースごとに音量、低域、高域、バランス、フェーダーバランス設定ができます。オフ：すべてのソースの音量、低域、高域、バランス、フェーダーバランス設定は同一になります。	On Off
Enable IR sensor	本機のリモコン制御をオン／オフします。	On Off
Set IR modulation: IR out 1	赤外線フラッシャー1の変調周波数設定。工場出荷状態で使用しないとき、周波数は1～576 kHz（リニアでない場合）の範囲に設定します。	36 kHz 1～576 kHz

ユーザーオプション	内容	設定
Set IR modulation: IR out 2	赤外線フラッシャー2の変調周波数設定。工場出荷状態で使用しないとき、周波数は10～2304 kHz（リニアでない場合）の範囲に設定します。	56 kHz 10～2304 kHz
Configure ACC socket	アクセサリ端子 (ACC) の使用を設定します。IR は赤外線リピーター、RCU はKNEKT リモートコントロールユニット	IR RCU
Configure KNEKT mode	オート：本機がKNEKTシステム内で使用されているかどうかを判別します。 メイン：KNEKTの取扱説明書をご覧ください。 ルーム：KNEKTの取扱説明書をご覧ください。	Auto Main Room
CD commands accepted	別のCDプレーヤーが接続されたり、同じ部屋で使用されている場合、CLASSIK Movie がリモコンのCD操作で作動しないようにするためにNOに設定します。	Yes No

ユーザーオプション	内容	設定
Enable auto-selection: Disc	本オプションが「On」に設定され、本機がDiscソースを使用していないとき、ディスク機能キー (▶、▶▶ など) のいずれかを押し、本機は自動的にDiscソースに切り替わります。 本オプションを「Off」に設定している場合、ディスク機能キーを使用するにはDiscソースを選択する必要があります。	On Off
Enable auto-selection: Tuner	本オプションが「On」に設定され、本機がTunerソースを使用していないとき、チューナー機能キー (IPRESET、ISCAN など) のいずれかを押し、本機は自動的にTunerソースに切り替わります。 本オプションを「Off」に設定している場合、チューナー機能キーを使用するにはTunerソースを選択する必要があります。	On Off
RS232 baud rate*	RS-232 制御のボーレートを設定します。	9600 4800 ~ 230400 (設定は9種類)

ユーザーオプション	内容	設定
RS232 events*	「On」にすると、本機の内部ステータス情報をRS-232 データ対応の外部機器に送信します。	On Off
RS232 startup message*	「On」にすると、本機のスイッチが入ったとき、RS-232 開始メッセージを出します。	Off On

* ソフトウェアのアップロードを行うときにだけ使用。

保証とサービス

この製品はお買い上げになった国できちんとご使用いただけるように調整されており、あなたの合法的権利が制限を受けることはありません。加えて、製造上の欠陥によってトラブルが発生した場合には、弊社が無償にて部品を交換いたします。詳しくは販売店までお問い合わせください。

ヨーロッパの各地、アメリカ合衆国、その他いくつかの市場では、お買い上げをご登録いただいたお客様に対して、拡大保証が適用される場合があります。製品に付随する登録カードには販売店のスタンプが必要です。なるべく早くご返送ください。あるいは、www.linn.co.uk にて保証登録していただけます

警告

製品をむやみに改造解体した場合は保証が無効になります。ユーザーが修理・調節すべき内部部品はありません。製品サービスに関するすべての問い合わせは正規販売店でのみ対応しています。

技術サポート、お問い合わせ

技術サポート、製品についてのお問い合わせは、最寄りの販売店またはリン・ジャパンまでご連絡ください。

販売店に関してはホームページをご覧ください。

www.linn.co.uk

www.linn.jp

重要

- 製品を購入した日付などを記載した領収書を保存しておいてください。
- 修理のための輸送の際には、必ず製品に保険をかけてください。

Linn Products Limited

Glasgow Road
Waterfoot
Eaglesham
Glasgow G76 0EQ
Scotland, UK

電話: +44 (0)141 307 7777
FAX: +44 (0)141 644 4262
ヘルプライン: 0500 888909
電子メール: helpline@linn.co.uk
Web サイト: www.linn.co.uk

Linn Incorporated

8787 Perimeter Park Boulevard
Jacksonville
FL 32216
USA

電話: +1 (904) 645 5242
FAX: +1 (904) 645 7275
ヘルプライン: 888-671-LINN
電子メール: helpline@linninc.com
Web サイト: www.linninc.com

Linn Deutschland GmbH

Hühnerposten 1d
D-20097 Hamburg
Germany

電話: +49-(0) 40-890 660-0
FAX: +49-(0) 40-890 660-29
電子メール: info@linngmbh.de
Web サイト: www.linn.co.uk

リン・ジャパン

101-0021
東京都千代田区外神田6-1-4
神田ノーザンビル4F

電話: +813.5816.6881
FAX: +813.5816.6882
ヘルプライン: 0120 126 173
Web サイト: www.linn.jp

